

YAMAHA PORTATONE

PSR-410

取扱説明書



はじめに

このたびはヤマハポータートーン PSR-410をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。PSR-410のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

PSR-410の特長

- 微妙なニュアンスを表現できるタッチレスポンス付 61鍵キーボード
- 高音質、バラエティ豊かな 128音色（最大同時発音数 28音）
- いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる80スタイル（各 8トラック）のオートアカンパニメント（自動伴奏機能）
- アカンパニメントスタイルのトラック音色などを自由に設定、変更できるリボイス機能
- アカンパニメントスタイルに最適な設定をボタンひとつで呼び出せるワンタッチセッティング機能
- ボイス・スタイル設定を記憶させ、演奏中もワンタッチで呼び出せるレジストレーションメモリー機能
- 2トラック（アカンパニメント/メロディ）の録音/再生が可能なソングメモリー
- アドリブやソロ演奏を録音し、ワンタッチで再生できるマルチパッド（コードに応じて音程が変化するコードマッチ機能付）
- 録音データを含むパネルの設定を 4つメモリーでき、いつでも呼び出せるページメモリー機能
- 音楽表現の可能性を広げるMIDI機能（GMシステム・レベル1対応）

取り扱い上の注意

取り扱い

- ご使用にならないときは、電源スイッチを切ってください。
- 長時間ご使用にならないときは、電源アダプターを家庭用コンセントから抜いてください。また、乾電池をご使用の場合は、乾電池を取り出してください。
- 物をぶつけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。
- ボタンやスイッチ類に無理な力を加えないでください。
- コード類を外すときは、プラグを持って外してください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。

設置場所

次のような場所で使用しますと、変形、変色、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 窓際や車内など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。

- 温度の特に低い場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 振動の多い場所。

外装のお手入れ

- 汚れは柔らかい布でカラぶきしてください。また、汚れのひどいときは少し湿らせた布で拭いてください。（アルコールやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。）
- ビニール製品を上に乗らないでください。貼りついてしまうことがあります。

他の電気機器への影響

- ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

不適切な使用による故障につきましては、保証しかねる場合がございます。

音楽を楽しむエチケット

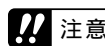


これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

表記上の約束ごと

本書のページ右端には操作ガイドがついています。以下のマークを目安にお読みください。



注意 操作上の禁止事項、各種データが損なわれてしまう操作などを解説します。必ず目を通してください。



メモ 各機能を十分に理解するうえでのポイントや、本文で解説する機能の補足的な機能を解説します。



ヒント 演奏上のヒントとなることを解説します。演奏にお役立てください。

目次

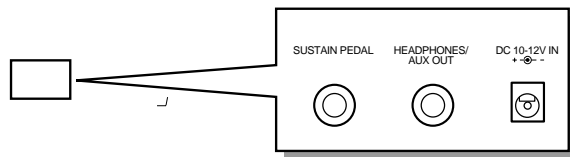
演奏をはじめる前に	2
PSR-410各部の名称	4
デモ曲を鳴らしましょう (DEMO)	6
電源オン	6
マスターボリュームの調整	6
デモ曲の再生	7
基本的な操作方法を覚えましょう	8
ボイスを選んで演奏しましょう (VOICE)	9
ボイスの選択	9
キーボードパーカッション	10
オーケストレーションについて	11
オーケストレーションパートのエディット	12
ボイスの設定 (VOICE)	13
ボリューム	13
オクターブ	13
パン	13
ハーモニー	14
サステイン	14
全体のコントロール設定をしましょう (OVERALL CONTROL)	15
テンポ	15
メトロノーム	15
スプリットポイント	16
トランスポーズ	16
チューニング	17
タッチレスポンス	17
ピッチベンド	17
オートアカンパニメント (自動伴奏) を使って演奏しましょう (AUTO ACCOMPANIMENT)	18
オートアカンパニメントとは?	18
アカンパニメントスタイルの選択	19
オートアカンパニメントのオン / オフ設定	19
オートアカンパニメントトラックの構成	20
フィンガリングの選択	21
アカンパニメントコントロール	23
アカンパニメントのスタート	23
テンポの調整	23
ビートディスプレイについて	23
アカンパニメントのセクションについて	24
アカンパニメントのボリューム (伴奏音量) の調節	25
アカンパニメントのストップ	25
リボイス (REVOICE)	25
ワンタッチセッティングを活用しましょう	27
レジストレーションを記憶させましょう (REGISTRATION MEMORY)	28
レジストレーションの記憶	28
レジストレーションの呼び出し	28

録音機能を活用しましょう (RECORDING)	29
録音の基本操作を覚えましょう	29
ソングメモリーの録音	30
アカンパニメントトラックの録音	30
メロディトラックの録音	31
再生	32
特定の小節からの録音	33
マルチパッドの録音	34
録音	34
再生	35
録音データのクリア	36
ページメモリーにパネルの状態を記憶させましょう (PAGE MEMORY)	37
PSR-410メモリーのしくみ	37
ページメモリーの記憶と呼び出し	38
ページコピーの方法	39
MIDI機能を活用して演奏の幅を広げましょう (MIDI)	40
MIDIとは?	40
PSR-410のMIDI端子について	40
MIDI受信	40
受信チャンネル / モードの設定	40
クロックの設定	41
スタート / ストップコマンドの設定	42
MIDI送信	42
送信チャンネルの設定	42
MIDIバルクダンプ (MIDI BULK DUMP) について	43
MIDIバルクダンプ送信	43
MIDIバルクダンプ受信	43

資料

最大同時発音数リスト	44
スタイルリスト	46
パーカッションキットリスト	48
初期化の方法 / PSR-410ページメモリー初期設定一覧	50
MIDIインプリメンテーションチャート	52
故障かなと思ったら・・・	54
インデックス	55
PSR-410仕様	56
オプション商品のご紹介	56
サービスと保証	61
ヤマハ電気音響製品サービス拠点	61
各支店営業課リスト	61

演奏をはじめる前に

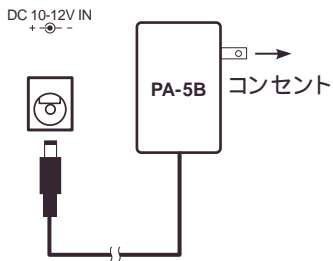


このイラストはPDF上では表示されません。

電源の準備

PSR-410は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源をとるときは



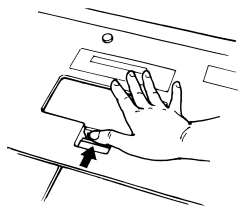
付属の電源アダプターPA-5Bをご使用ください。

- 1 アダプターのDCプラグをリアパネルの電源アダプター接続用端子 (DC 10-12V IN) へさし込みます。
- 2 アダプターのACプラグを家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。

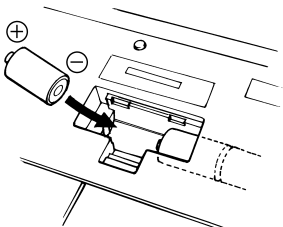
!! 注意

電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-5Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障につながります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

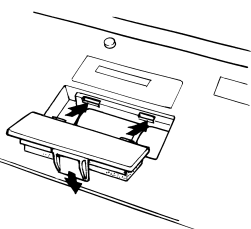
乾電池を使うときは



- 1 PSR-410を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。



- 2 市販の乾電池 (単1乾電池) を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 3 電池ブタを閉めます。

!! 注意

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音が歪んだり演奏やリズムなどがストップする場合があります。このようなときは6本とも新しいものと交換してください。乾電池をお買い求めの際は『単1乾電池6本』とご指定ください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。また、危険ですので異なる種類やメーカーの電池を混ぜて使用しないでください(たとえば、アルカリとマンガンなど)。

メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

演奏の準備

サステインペダル端子

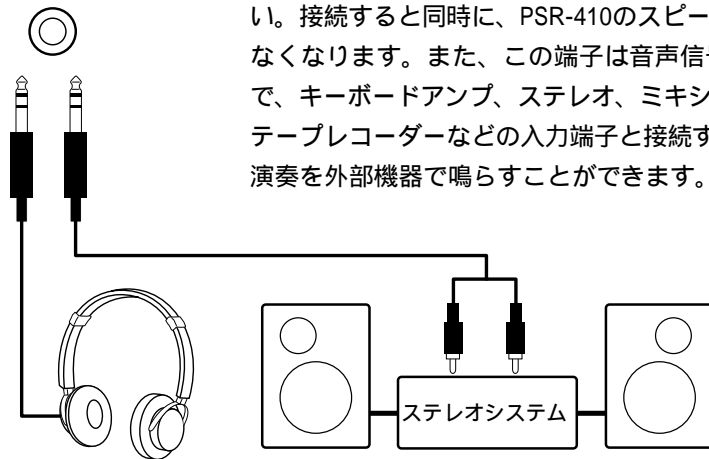
SUSTAIN PEDAL



この端子にフットスイッチ（FC4またはFC5：別売）を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。

ヘッドフォン/AUX出力端子

HEADPHONES/
AUX OUT



ヘッドフォンを使用する場合は、この端子に接続してください。接続すると同時に、PSR-410のスピーカーからは音が出なくなります。また、この端子は音声信号を出力しますので、キーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子と接続すれば、PSR-410の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

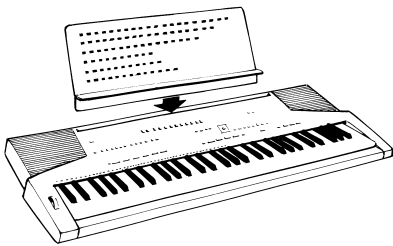
メモ

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

!! 注意

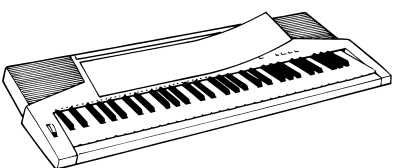
PSR-410を外部機器と接続する場合は、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

譜面立て



楽譜を見ながら演奏する場合は、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-410のパネル上のスロットに差し込んでください。

和文シート



PSR-410のパネルは英語で表記されています。本書では操作説明上のパネルのボタン名は英語表記を使用いたしますが、付属の和文シートをパネル上にものせてご利用になることもできます。和文シートは粘着テープ式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。

PSR-410各部の名称

フロントパネル

- ① POWER ON/OFF (電源オン/オフ スイッチ) P.6
- ② MASTER VOLUME (マスターボリューム コントロール)
P.6
- ③ MULTI DISPLAY (マルチディスプレイ) P.8
- ④ ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9], [+/-] P.8
- ⑤ ARE YOU SURE? [YES] [NO]
(アーユーシュア? (確認) ランプ & [YES] [NO] ボタン)
P.36, 39, 43
- ⑥ PITCH BEND (ピッチベンド コントロール) P.17
- ⑦ PAGE MEMORY部 (ページメモリー) P.37
 - PAGE# (ページナンバー選択ボタン)
P.38, 39, 43
 - MIDI BLUK DUMP/ PAGE COPY
(MIDIバルクダンプ/ページコピー ボタン) P.39, 43
- ⑧ OVERALL CONTROL部 (全体のコントロール) P.15
 - TEMPO (テンポ ボタン)
P.23
 - METRONOME (メトロノーム ボタン)
P.15
 - SPLIT POINT (スプリットポイント (位置) ボタン)
P.16
 - TRANSPOSE (トランスポーズ ボタン)
P.16
 - TUNING (チューニング ボタン)
P.17
 - TOUCH RESPONSE (タッチレスポンス ボタン)
P.17
- ⑨ MIDI部 P.40
 - RECEIVE CH/CL/COM
(受信チャンネル/クロック/コマンド ボタン) . P.40~
42
 - TRANSMIT CH (送信チャンネル ボタン)
P.42
- ⑩ AUTO ACCOMPANIMENT部
(オートアカンパニメント (自動伴奏)) P.18
 - STYLE SELECT (スタイル選択 ボタン)
P.19
 - AUTO ACCOMP (オートア कंप ボタン)
P.19
 - FINGERING (フィンガリング ボタン)
P.21
 - ACCOMP VOLUME (ア कंप ボリューム ボタン)
P.25
 - REVOICE (リボイス ボタン)
P.25

このイラストはPDF上
では表示されません。

- ⑪ ACCOMPANIMENT CONTROL部
(アカンパニメントコントロール) P.23
 - SYNC-START/STOP
(シンクロスタート/ストップ ボタン) P.23
 - START/STOP (スタート/ストップ ボタン)
P.23
 - INTRO (イントロ ボタン)
P.23, 24
 - FILL IN 1 (フィルイン1 ボタン)
P.24
 - FILL IN 2 (フィルイン2 ボタン)
P.24



このイラストはPDF上では表示されません。

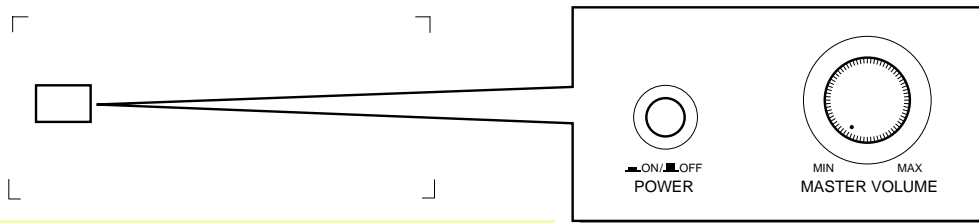
19 20 21 22

-ENDING (エンディング ボタン)
P.24, 27
- MAIN A/B (メインA/B ボタン)
P.24
- 12 VOICE部 (ボイス (音色)) P.9, 13
 - VOICE SELECT (ボイス選択 ボタン)
P.9
 - KEYBOARD PERCUSSION
(キーボードパーカッション ボタン) P.10
 - VOL (ボリューム ボタン)
P.13
 - OCTAVE (オクターブ ボタン)
P.13
 - PAN (パン ボタン)
P.13
 - ONE TOUCH SETTING

- (ワンタッチセッティング ボタン) P.27
- ORCHESTRATION R1, R2, L1, L2, EDIT
(オーケストレーションR1, R2, L1, L2, エディット ボタン)
P.11
- HARMONY TYPE (ハーモニータイプ ボタン)
P.14
- HARMONY (ハーモニー ボタン)
P.14
- 13 REGISTRATION MEMORY部
(レジストレーションメモリー) P.28
 - MEMORIZE (メモライズ ボタン)
P.28
 - 1~4 (レジストレーション1~4 ボタン)
P.28
- 14 SONG MEMORY部 (ソングメモリー) P.30
 - MEASURE# (メジャー (小節) ナンバー ボタン)
P.33
 - TRACK: ACCOMP, MELODY

デモ曲を鳴らしましょう (DEMO)

PSR-410には5曲のデモンストレーション演奏(デモ曲)が内蔵されています。
まず、デモ曲を聴いてみましょう。



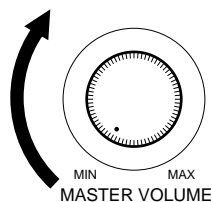
このイラストはPDF上では表示されません。

電源オン



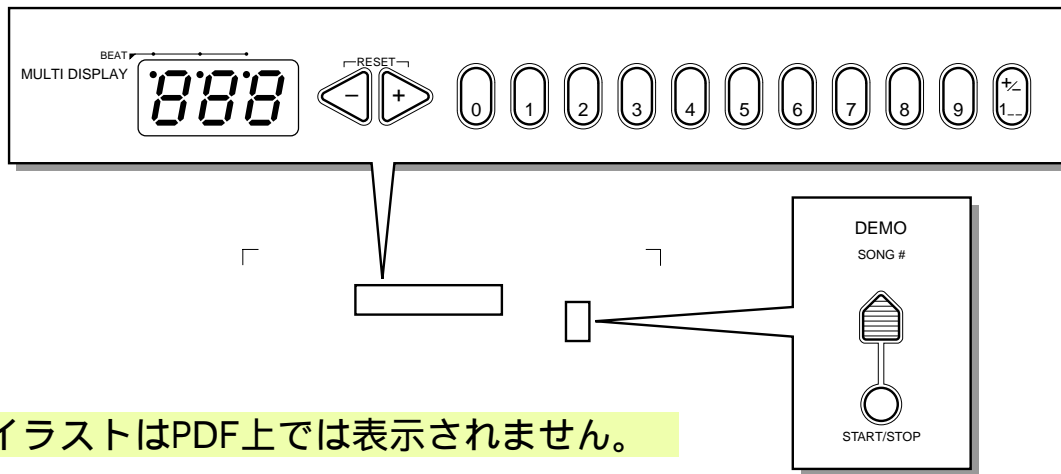
POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源が切れます。

マスターボリュームの調整



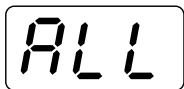
全体の音量は、MASTER VOLUMEでコントロールします。
鍵盤を弾きながらMASTER VOLUMEを回して、適度な音量
になるように調整します。

デモ曲の再生



このイラストはPDF上では表示されません。

1 マルチディスプレイをソングナンバーの表示に切り替えます。



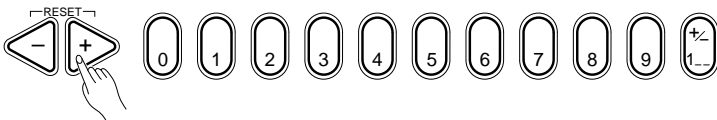
SONG#ボタンを押すと、現在選択されているソングナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

メモ

電源を入れたときの設定はALL：ソングナンバー1～5のチェインプレイです。

マルチディスプレイのソングナンバー表示は、数秒間何の操作もしないと、自動的にボイスナンバー表示に戻ります。

2 ソングナンバーを選択します。



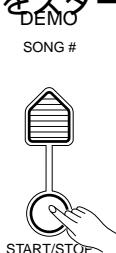
ナンバー選択ボタン [+], [-], [0]～[5] を使用して、演奏するデモ曲のソングナンバーをALL, 1～5の中から選びます。(P.8参照)

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、ソングナンバーはALLに戻ります。

SONG#ボタンを押してソングナンバーを選択することもできます。

3 デモ曲をスタート/ストップします。



START/STOPボタンを押すとデモ曲の演奏が始まります。演奏は、もう一度START/STOPボタンを押すまで何度も繰り返されます。

メモ

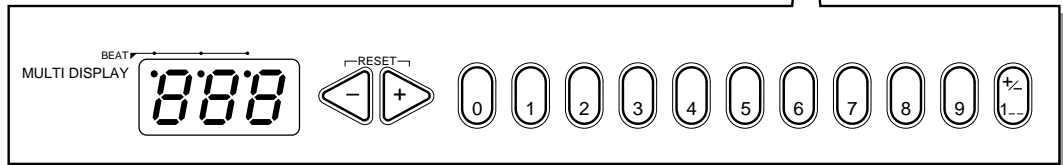
デモ曲を聴きながら鍵盤で演奏することができます。

デモ曲の再生中にソングナンバーを変更すると、すぐに新しいデモ曲の再生がスタートします。

基本的な操作方法を覚えましょう

PSR-410の各機能の設定値をセットする方法は、基本的に同じです。
ここでは、その基本的な操作方法を覚えましょう。

このイラストはPDF上では表示されません。



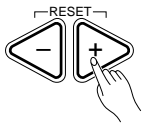
1 機能ボタンを押します。.....



各機能ボタン（パネルの ⌂ 型ボタン）を押すと、その機能の設定値がマルチディスプレイに表示されます。

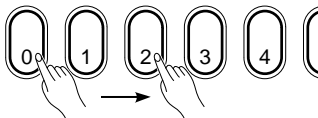
2 設定値をセットします。.....

設定値は、以下の3つの方法でセットすることができます。



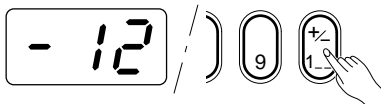
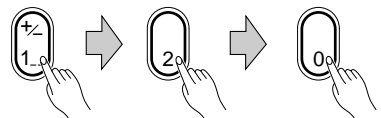
① [+] ボタンを押すと、ディスプレイに表示された値が一つ増加、[-] ボタンを押すと一つ減少、押し続けると連続で増減します。

例) 「02」



② [0] ~ [9] ボタンを使用する場合は、直接設定する値を押してください。2桁のナンバーを設定する場合は、続けて2つのボタンを押してください。3桁のナンバーを設定する場合（ボイス設定）は、[+/-] ボタンを押して100の位「1--」を設定してから、残りの2桁を設定してください。

例) 「120」



ください。

また、[+/-] ボタンを押すと、数値の前のプラスマイナスが入れ替わります。（プラス、マイナス両方の設定値を持つ機能（トランスポーズ、オクターブ、パンなど）だけ使用できます。）

TUNING



③ 各機能ボタンを押すと、各設定値が一つ増加、押し続けると連続で増加します。（SPLIT POINTボタンは例外です。スプリットポイントの設定についてはP.16を参照してください。）

メモ

変更不可能な設定モードに入ろうとしてボタンを押さえると、マルチディスプレイに「---」が表示され、変更できないことを知らせます。

マルチディスプレイに表示される各機能の設定値は、数秒間何の操作もしないと、自動的にボイスナンバー表示に戻ります。

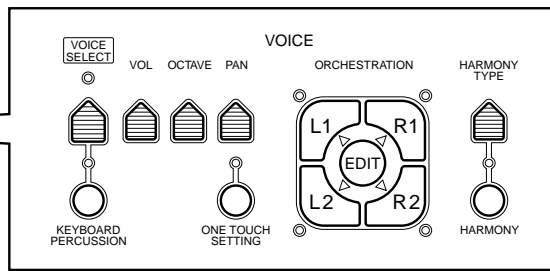
マルチディスプレイに表示される数値には、ボイスナンバー（P.9参照）のように、[+]または[-] ボタンを押し続けると ...127 → 128 → 01 → 02 ...、... 02 → 01 → 128 → 127 ... というように最大値と最小値の間で循環するものと、ボリューム（P.13参照）のように、[+]または[-] ボタンを押し続けると、最大値または最小値でストップするものがあります。

ボイスを選んで演奏しましょう

(VOICE)

128種類のボイスの中から、ボイスを選んで演奏しましょう。また、オーケストレーションボタンを使用して、さまざまな組み合わせで演奏したり、オクターブ、パンなど、ボイスに関するさまざまな設定を変更しましょう。

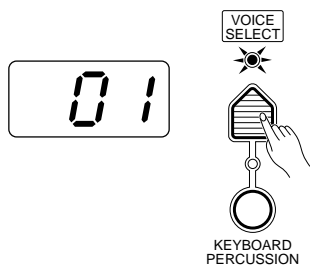
このイラストはPDF上では表示されません。



ボイスの選択

ボイスリストから、ボイスを選んで演奏しましょう。

1 マルチディスプレイをボイスナンバーの表示に切り替えます。.....



VOICE SELECTボタンを押してランプを点灯させます。マルチディスプレイには、現在選択されているボイスナンバーが表示されます。

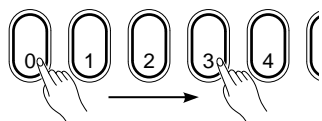
メモ

初期設定ボイスは01：ACOUSTIC GRAND PIANO（グランドピアノ）です。

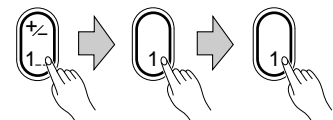
2 ボイスを選択します。.....

パネルのリストを参考に、ボイスを選択してください。

2桁のボイスナンバーを選択する場合は、ナンバー選択ボタン[0]～[9]を10の位、1の位の順に2つ押します。



たとえば、03：ELECTRIC GRAND PIANO（エレクトリックグランドピアノ）を選択する場合は、[0]、[3]を続けて押します。



3桁のボイスナンバーを選択する場合は、[+/-]ボタンを押して100の位「1--」を設定してから、ナンバー選択ボタン[0]～[9]を10の位、1の位の順に2つ押します。たとえば、ボイスナンバーが3桁の111：FIDDLE（フィドル）を選択する場合は、[+/-]、[1]、[1]を続けて押します。

[+][-]ボタン、または、VOICE SELECTボタンを使ってナンバーを選択することもできます。

メモ

[+/-]ボタンはボイスを選択する場合、100の位の設定に使用しません。ナンバー選択ボタンの[1]は100の位の設定には使用できません。

ボイスによって最適な音域が鍵盤にセットされています。

3 演奏しましょう。.....

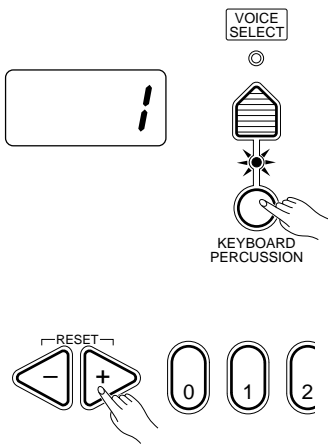


ボイスを選んだら、演奏しましょう。

ボイスを選んで演奏しましょう (VOICE)

キーボードパーカッション

キーボードパーカッションは、鍵盤を押してさまざまな打楽器（パーカッション）音色を鳴らすことができる機能です。



1 KEYBOARD PERCUSSIONボタンを押すとランプが点灯し、各鍵盤に打楽器（パーカッション）音色がセットされます。
この時マルチディスプレイには現在選択されているパーカッションキットナンバーが表示されます。

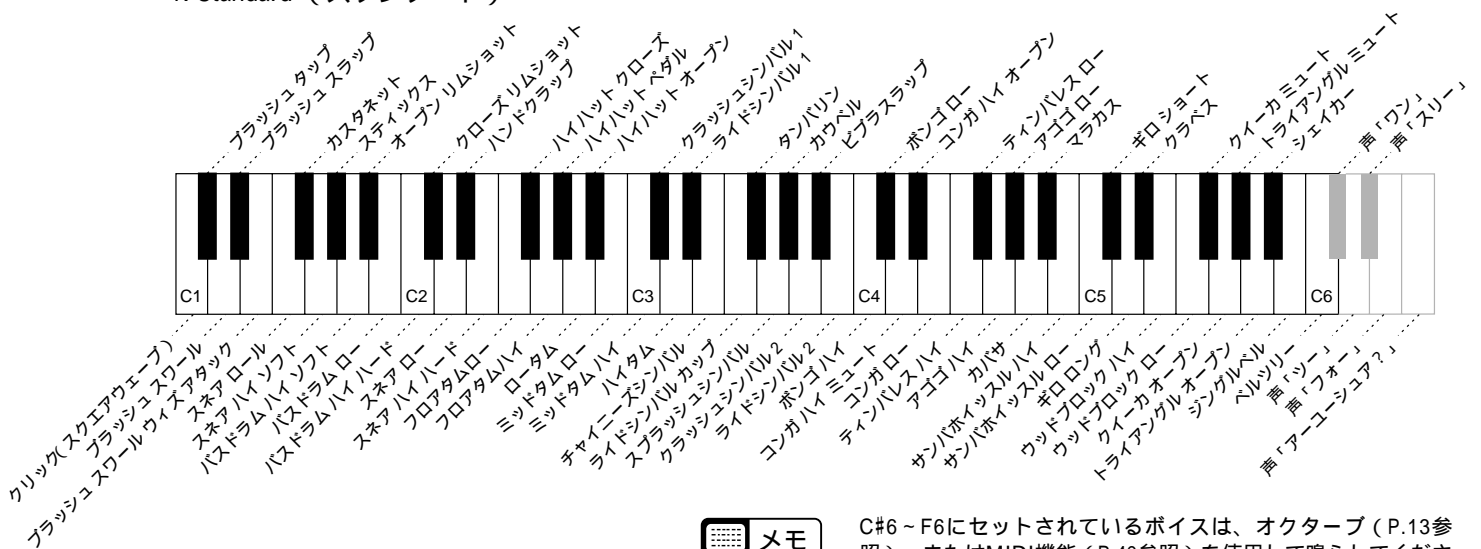
2 パネルのリストを参考に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [8]、またはVOICE SELECTボタンを使って、パーカッションキットを選択してください。

3 キットのナンバーを変更していろいろなパーカッションサウンドを演奏しましょう。

[パーカッションキットリスト]

1	Standard (スタンダード)
2	Room (ルーム)
3	Rock (ロック)
4	Electronic (エレクトロニック)
5	Analog (アナログ)
6	Jazz (ジャズ)
7	Brush (ブラッシュ)
8	Classic (クラシック)

1: Standard (スタンダード)



メモ

C#6 ~ F6にセットされているボイスは、オクターブ (P.13参照)、またはMIDI機能 (P.40参照) を使用して鳴らしてください。

メモ

PSR-410の鍵盤上部には、キットナンバー1を選んだときに、各鍵盤に設定される打楽器音色を示すイラストがついています。

各キットの具体的な内容はP.48の「パーカッションキットリスト」を参照してください。

キーボードパーカッションにはハーモニー (P.14参照)、トランスポート (P.16参照) は効きません。

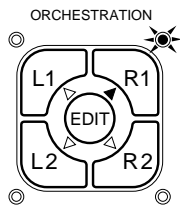
キーボードパーカッションがオンになると、ハーモニーはオフになります。

リボイスでリズムトラックを選んだとき (P.25参照) は、自動的にキーボードパーカッションがオンになります。

キーボードパーカッションがオンになると、オーケストレーションのEDIT機能 (P.12参照) はキャンセルされます。

オーケストレーションについて

オーケストレーション (ORCHESTRATION) では、演奏するボイスの構成 (R1、R2、L1、L2パートの組み合わせ) を決めることができます。



R1、R2パート 鍵盤全体、または右手鍵域で演奏するボイスを設定します。

L1、L2パート 鍵盤の左手鍵域で演奏するボイスを設定します。

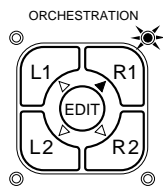
メモ

オーケストレーションの設定は、必ず「R1」または「R2」が点灯している状態になります。

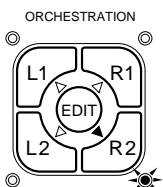
シングルボイス

キーボード全体を使って、選択した1つのボイスで演奏します。

▶ R1またはR2、どちらか1つのボタンを押してランプを点灯させます。



全鍵域R1のシングルボイス



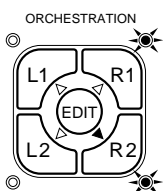
全鍵域R2のシングルボイス



デュアルボイス

キーボード全体を使って、選択した2つのボイスを同時に演奏します。

▶ R1ボタンを押しながらR2ボタンを押して両方のランプを点灯させます。



全鍵域R1+R2のデュアルボイス



メモ

PSR-410の最大同時発音数は28音です。デュアルボイスモードでは演奏に対して2つのボイスが同時に発音されるため、最大同時発音数が減少します。詳細はP.44「最大同時発音数リスト」の項を参照してください。

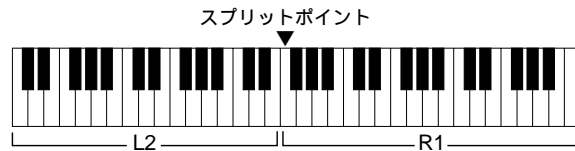
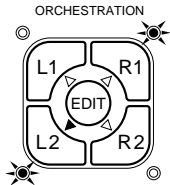
ボイスを選んで演奏しましょう (VOICE)

スプリットボイス

スプリットポイントを境にキーボードの右側と左側で、異なる2つのボイスを同時に演奏します。

- ▶ R1とL1、R1とL2、R2とL1、R2とL2、いずれかの組み合わせでボタンを押して、ランプを点灯させます。

右手鍵域 R1、左手鍵域 L2のスプリットボイス

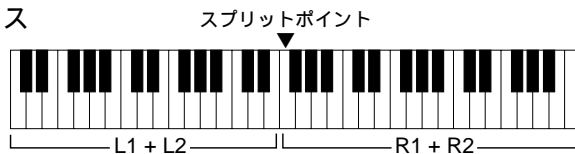
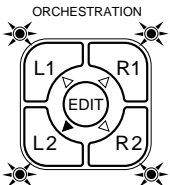


スプリット&デュアルボイス

スプリットポイントを境にキーボードの右側と左側で、それぞれ異なる2つのボイスで演奏します。

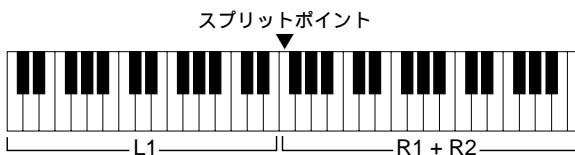
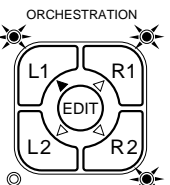
- ▶ R1ボタンを押しながらR2ボタンを押し、L1ボタンを押しながらL2ボタンを押して、すべてのランプを点灯させます。

右手鍵域 R1+R2、左手鍵域 L1+L2のスプリット&デュアルボイス



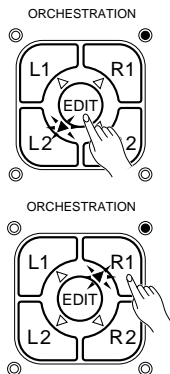
また、右側、左側、どちらかをシングルボイスにすることもできます。R1、R2、L1、L2ボタンを押してランプを点灯させ、いろいろな組み合わせで演奏しましょう。

右手鍵域 R1+R2、左手鍵域 L1のスプリット&デュアルボイス (右手鍵域のみ)



オーケストレーションパートのエディット

オーケストレーションのパート (R1、R2、L1、L2) ごとに、それぞれのボイスの設定 (P.13) をエディット (変更) しましょう。



- 1 エディットするオーケストレーションのパートを指定します。
EDITボタンを押してEDITランプが点灯すると、そのオーケストレーションパートがエディット状態になり、マルチディスプレイはそのパートのボイスデータを表示します。EDITボタンを押すたびに、エディットするパートが時計回りに変更されません。
また、R1、R2、L1、L2それぞれのボタンを押して、エディットするパートを選ぶこともできます。
- 2 ボイスの選択 (P.9参照) の項を参照して、それぞれのオーケストレーションパートのボイス設定を変更しましょう。

メモ

スプリットポイントに関しては、P.16「スプリットポイント」の項を参照してください。

メモ

オーケストレーションのパート設定 (R1、R2、L1、L2のオン/オフ) にかかわらず、EDITランプを点灯させることで、エディット状態に入ることができます。

リボイス (P.25参照) ランプが点滅中はエディットできません。

ボイスの設定 (VOICE)

オーケストレーションのそれぞれのパート (R1、R2、L1、L2) について、ボイスナンバー同様、ボリューム、オクターブなどの設定を変更することができます。

ボリューム

オーケストレーションで現在エディット中 (EDITランプが点灯) のパートのボイスボリュームを00~24の範囲で調整できます。



▶ VOLボタンを押すと、マルチディスプレイに現在のボリューム値が表示されます。

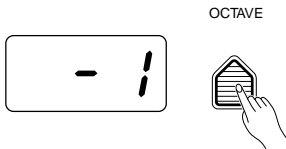
ボリューム値表示中に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9]、またはVOLボタンを使ってボリューム値を設定してください。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 21に戻ります。

オクターブ

オーケストレーションで現在エディット中 (EDITランプが点灯) のパートについて、ボイスのオクターブを-2~+2 (±2オクターブ) の範囲で設定します。



▶ OCTAVEボタンを押すと、マルチディスプレイに現在のオクターブ値が表示されます。

オクターブ表示中に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [2], [+/-]、またはOCTAVEボタンを使ってオクターブ値を設定してください。

メモ

オクターブはボイスごとにそれぞれ初期設定値を持ち、ボイス変更時にその値に設定されます。

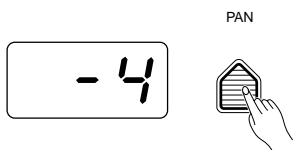
[+] [-] ボタンを同時に押すと、それぞれのボイスの初期設定のオクターブ値に戻ります。

MIDI出力する場合は、鍵盤のノートナンバーにオクターブ値が加算されて出力されます。

パン

ボイスのパン (音の定位) を設定します。パートごとに左右に振り分けて定位を設定すれば、より臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。

オーケストレーションで現在エディット中 (EDITランプが点灯) のパートについて、ボイスのパンを-7~+7 (-7で最も左、+7で最も右) の範囲で調整できます。



▶ PANボタンを押すと、マルチディスプレイに現在のパンが表示されます。

パン表示中に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [7], [+/-]、またはPANボタンを使って設定してください。

メモ

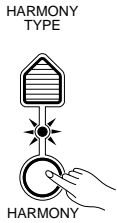
[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 0に戻ります。

パンの値を変更すると、次の押鍵から新しく設定したパンの値で発音します。

ボイスを選んで演奏しましょう (VOICE)

ハーモニー

ハーモニーは、オートアカンパニメント (P.18参照) を使用している時に、右手鍵域 (スプリットポイントより右側) での押鍵に対していろいろなハーモニー (ハーモニータイプで選択) が自動的にかけられる機能です。ハーモニーは、左手鍵域で検出されたコードに従ってかけられます。



- ▶ HARMONYボタンを押してランプが点灯するとハーモニーがオンになります。

ハーモニータイプ

ハーモニーがオンの時、オーケストレーションのR1とR2のボイスにかかるハーモニータイプを10種類の中から選択します。

- ▶ HARMONY TYPEボタンを押すと、現在選ばれているハーモニータイプのナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

ハーモニータイプ表示中に、パネルのリストを参考に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9]、または HARMONY TYPEボタンを使って01 ~ 10の中から選択してください。

ナンバーごとのハーモニータイプは以下のとおりです。

[ハーモニータイプリスト]

01	DUET (デュエット)	06	4-WAY CLOSE 1 (4ウェイクローズ1)
02	1+5 (1+5)	07	4-WAY CLOSE 2 (4ウェイクローズ2)
03	COUNTRY (カントリー)	08	4-WAY OPEN (4ウェイオープン)
04	TRIO (トリオ)	09	OCTAVE (オクターブ)
05	BLOCK (ブロック)	10	STRUM (ストラム)

メモ

オートアカンパニメントを使用していない時、または、コードキャンセル (P.21参照) 押鍵時はハーモニーはかかりません。

フィンガリングモードが「フル」の時は、ハーモニーをオンにできません。

ハーモニーをオンにすると、次の押鍵からハーモニーがかかります。

ハーモニーをオンにすると、複数の鍵盤を押さえても最高音のみが発音します。

アカンパニメント音にハーモニーはかかりません。

デュアルボイスモード (P.11参照) の時、押鍵音は常にR1のボイスで鳴ります。また、付加音は、R1のボイスで発音するものと、R2のボイスで発音するものがあり、その組み合わせはハーモニータイプによってあらかじめ設定されています。

ハーモニーがかかっている状態で、右手鍵域で鍵盤を押さえたまま、左手鍵域でコードを変えると、新しいコードと右手の押鍵に適したハーモニー音にピッチ変更されます。

ソングメモリー (P.32参照) の再生中は、再生のコード進行に合わせてハーモニーが発音されます。

ハーモニーのオン/オフにかかわらず、ハーモニータイプを変更することができます。

キーボードパーカッションがオンの時は、ハーモニーをオンにできません。

サステイン (フットスイッチを使用します)

フットスイッチを使って、オーケストレーションで現在選択されているパート (外側ランプ点灯) の押鍵音にサステイン (余韻) をかけることができます。

SUSTAIN PEDAL



- ▶ リアパネルのサステインペダル端子にフットスイッチ (FC4またはFC5: 別売) を接続します。

フットスイッチを踏むと、サステインがかかります。

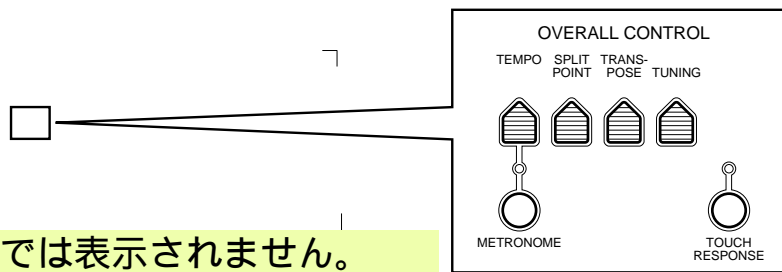
メモ

アカンパニメント (P.18参照) にはサステインはかかりません。

フットスイッチを踏みながら電源を入れると、フットスイッチのオン/オフが逆になります。

全体のコントロール設定をしましょう (OVERALL CONTROL)

OVERALL CONTROL部では、PSR-410全体に関するいろいろな設定を行います。
演奏時に必要に応じて、それぞれの設定を変更してください。



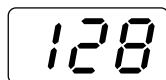
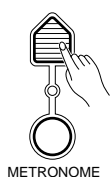
このイラストはPDF上では表示されません。

テンポ

リズム/アカンパニメント (P.18参照) やソングメモリー (P.30参照) などのテンポを調節することができます。

▶ P.23を参照してテンポを調整してください。

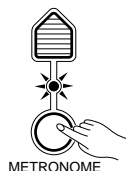
TEMPO



メトロノーム

オートアカンパニメント演奏中 (P.23参照) や、シンクロスタート待機中、ソングメモリー、マルチパッドなどの録音時に、設定されたテンポに従ってメトロノーム音を鳴らすことができます。

TEMPO

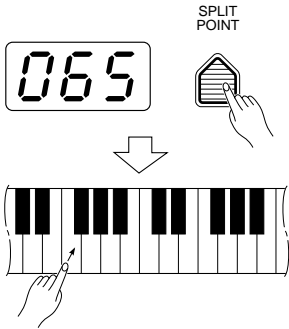


▶ METRONOMEボタンを押してランプを点灯させます。

全体のコントロール設定をしましょう (OVERALL CONTROL)

スプリットポイント

スプリットボイスのスプリットポイント（右手鍵域と左手鍵域の境界点）とオートアカンパニメントのスプリットポイント（メロディ鍵域とオートアカンパニメント鍵域の境界点）の2つのスプリットポイントの設定を変更することができます。



スプリットボイスのスプリットポイント設定

▶ SPLIT POINTボタンを押すと、現在設定されているスプリットポイントが、MIDIノートナンバー（鍵盤上部参照）でマルチディスプレイに表示されます。（オートアカンプをオフにしてから操作を行ってください。）

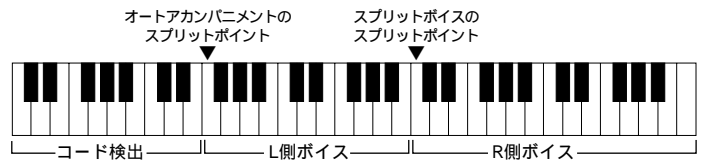
SPLIT POINTボタンを押しながら鍵盤を押さえると、スプリットポイントを変更することができます。この時押さえた鍵盤が右手鍵域の最低音となり、その鍵盤のナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

オートアカンパニメントのスプリットポイント設定

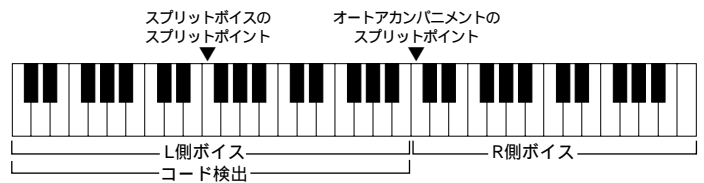
オートアカンパニメント使用時（P.18参照）のスプリットポイントも同様に設定変更でき、記憶させることができます。オートアカンプをオンにしてから同様の操作を行ってください。

オートアカンパニメントのスプリットポイントとスプリットボイスのスプリットポイントとの関係は以下ようになります。

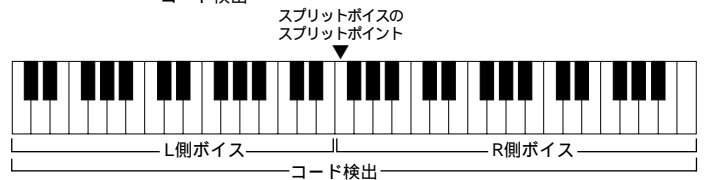
オートアカンパニメントのスプリットポイントが、スプリットボイスのスプリットポイントより左側に設定されている場合



オートアカンパニメントのスプリットポイントが、スプリットボイスのスプリットポイントより右側に設定されている場合



オートアカンパニメントでフルモードが選択されている場合



メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定= 69に戻ります。

スプリットポイント表示中にナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って、スプリットポイントを設定することもできます。ナンバー選択ボタンを使用する場合は [0] [6] [6] のように3桁で設定してください。

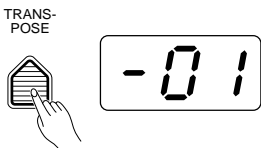
メモ

フィンガリングのシングルモードの場合、オートアカンパニメント鍵域は発音しません。

オートアカンプがオンの時、 [+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 55に戻ります。

トランスポーズ

音程を-12~+12半音（±1オクターブ）の範囲で調整することができます。



▶ TRANSPOSEボタンを押すと、現在設定されているトランスポーズ値がマルチディスプレイに表示されます。

トランスポーズ値の表示中に、ナンバー選択ボタン [+]

[-], [0] ~ [9], [+/-]、またはTRANSPOSEボタンを使って-12~+12半音（±1オクターブ）の範囲でトランスポーズ値を調節してください。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 00に戻ります。

発音中もトランスポーズ値の変更は可能ですが、変更後次の押鍵から新しく設定したトランスポーズで発音します。

ヒント

この機能を使用すれば、難しい調の曲でも簡単に演奏することができます。

チューニング

音程を-16~+16 (±50セント : 1/2半音) の範囲で微調整することができます。

TUNING



- ▶ TUNINGボタンを押すと、現在設定されているチューニング値がマルチディスプレイに表示されます。

チューニング値の表示中に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9], [+/-]、またはTUNINGボタンを使って-16~+16の範囲でチューニングを微調整してください。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 00 に戻ります。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても設定したチューニング値は記憶されています。

タッチレスポンス

タッチレスポンスのオン/オフを切り替えます。タッチレスポンスがオンになると、鍵盤を押さえる強弱により微妙なタッチニュアンスを表現することができます。タッチレスポンスをオフにすると、鍵盤を押さえる強弱にかかわらず一定音量で演奏できます。

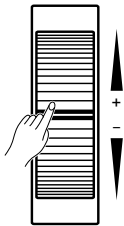


- ▶ TOUCH RESPONSEボタンを押してランプが点灯すると、タッチレスポンスがオンになります。

ピッチベンド

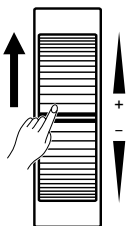
ピッチベンドは、演奏した音色の音程を滑らかにアップまたはダウンさせる (ベンドする) 機能です。

PITCH BEND



- ▶ 押鍵中にPITCH BENDホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。

PITCH BEND

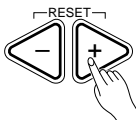
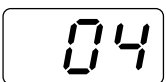


ピッチベンドレンジ (変化幅) の調整

ピッチベンドで変化させる音程の幅を-12~12半音 (±1オクターブ) の範囲で調整します。

- 1 PITCH BENDホイールを+、または-方向にいっぱいまで回すとマルチディスプレイに現在のピッチベンドレンジが表示されます。

- 2 PITCH BENDホイールを+、または-方向にいっぱいまで回した状態で、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9], [+/-] を使って-12~12 (単位: 半音) の範囲で設定してください。



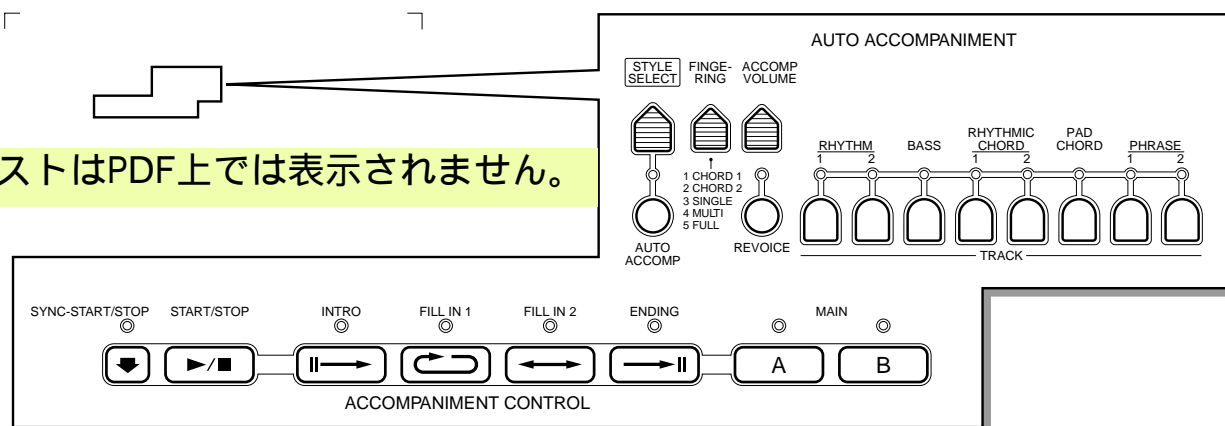
メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 02 (±1音) に戻ります。

PITCH BENDホイールを+方向にいっぱいまで回した状態で、マイナスの値を設定した場合は、PITCH BENDホイールのアップ/ダウンの効果が反対になります。(+側に回すと音程が下がり、-側に回すと音程が上がります。)

オートアカンパニメントを使って演奏しましょう (AUT)

このイラストはPDF上では表示されません。



オートアカンパニメントとは？

アカンパニメントスタイルの選択 ⇨ P.19

オートアカンパニメントのオン/オフ設定 ⇨ P.19

フィンガリングの選択 ⇨ P.21
(コード1 / コード2 / シングル / マルチ / フル)

アカンパニメントコントロール ⇨ P.23

アカンパニメントのスタート

- ・セクションの変更
- ・テンポの調整
- ・ア कंपボリューム (伴奏音量) の調節

アカンパニメントのストップ

ワンタッチセッティングの活用 ⇨ P.27

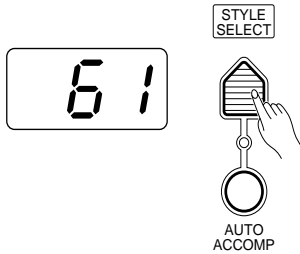
オートアカンパニメントとは、左手鍵域 (スプリットポイントより左側の鍵盤 → P.16参照) で検出されたコードと80種類の中から選択されたリズムスタイルに合わせて、伴奏を自動的に演奏する機能です。

オートアカンパニメントを使って演奏する手順は左のようになります。

リボイス ⇨ P.25

アカンパニメントスタイルの選択

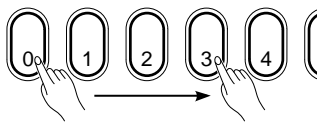
1 マルチディスプレイをアカンパニメントスタイルの表示に切り替えます。



STYLE SELECTボタンを押すと、マルチディスプレイに現

在選択されているスタイルナンバーが表示されます。

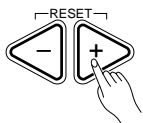
2 アカンパニメントスタイルを選択します。



スタイルナンバー表示中に、パネルのリストを参考に、ナンバー選択ボタン [0] ~ [9] を10の位、1の位の順に2つ押してアカンパニメントスタイルを選択してください。

たとえば03 : 8 BEAT LIGHT (8ビートライト) を選択する

場合は [0]、[3] を続けて押します。



また、[+] [-] ボタン、STYLE SELECTボタンを使ってナンバーを選択することもできます。

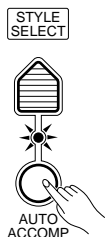
ヒント

各スタイルの特徴については、P.46のスタイルリストを参照してください。

メモ

演奏がスタートしてからアカンパニメントスタイルのナンバーを変更することができます。新しいアカンパニメントスタイルの演奏は次の小節から始まります。ただしイントロ演奏中は、イントロを最後まで演奏したあと、新しいスタイルの演奏が始まります。

オートアカンパニメントのオン / オフ設定



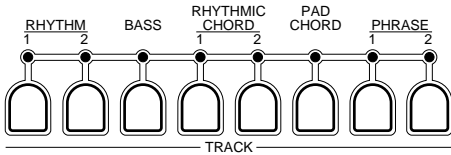
▶ AUTO ACCOMPボタンを押してランプを点灯させると、オートアカンパニメントがオンになります。

メモ

AUTO ACCOMPボタンを押してランプを消灯すると、オートアカンパニメントがオフになります。この状態ではアカンパニメントはリズムだけを演奏します。

オートアカンパニメントがオンでフィンガリングの設定がフルモード以外の時、リズムをスタートさせずに、フィンガリングのルールに従って左手鍵域でコードを押さえると、すべてのアカンパニメントスタイルに共通のベースとコードのボイスが発音します。

オートアカンパニメントトラックの構成



それぞれのアカンパニメントスタイルは、最大8つのトラック (RHYTHM 1, RHYTHM 2, BASS, RHYTHMIC CHORD 1, RHYTHMIC CHORD 2, PAD CHORD, PHRASE 1, PHRASE 2) で構成されています。スタイルを選択したときに、いずれかのセクション (P.24参照) でそのトラックにデータがある場合は、TRACKランプが点灯します。

演奏中でもTRACKボタンを押してランプを消灯させると、そのトラックの演奏はオフになり、ミュート (消音) されます。

それぞれのトラックデータは以下のような特長を持っています。

- RHYTHM 1** メインとなるリズムトラックです。ほとんどのスタイルでドラムを演奏します。
- RHYTHM 2** 付加的なリズムトラックです。RHYTHM 1に対してRHYTHM 2では基本的にドラム以外のパーカッションを演奏します。RHYTHM 1をオフにすればドラム無しの軽いイメージのリズムトラックになります。
- BASS** ベーストラック。ベースラインを演奏します。BASSトラックの音色は、アップライトベースからシンセベースまで多彩な音色が楽しめます。
- RHYTHMIC CHORD 1/2** ... コードトラック。コード伴奏のさまざまなパターンを演奏します。
- PAD CHORD** パッドトラック。ストリングスやオルガンなどのパッド系の (パッドコード) コードを演奏します。
- PHRASE 1/2** フレーズコードトラック。パンチのきいたプラスフレーズやアルペジオコードなどのフレーズを演奏します。オートアカンパニメントの中でひととき華やかなパートです。

ヒント

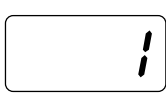
TRACKのオン/オフ操作で、いろいろなトラックの組み合わせを試してください。ソングによっては、すべてのトラックをオンにした大編成の方が効果的であったり、いくつかのトラックをオフにした小編成の方が魅力的であったりします。

あなたのイメージに合った、オリジナルのアカンパニメントづくりに挑戦してください。最初は小編成のアカンパニメント (RHYTHM 1, BASS, RHYTHMIC CHORD 1だけ、など) でスタートし、それらをベースにいろいろなトラックを重ねましょう。

一つの伴奏スタイルでも、さまざまな使い方が可能です。トラックのオン/オフ次第で (RHYTHM 1, BASS, PAD CHORDだけ、など)、まったく新しいアレンジの趣きを作りだすことができます。

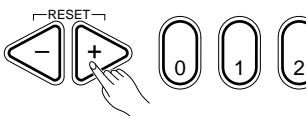
フィンガリングの選択

1 マルチディスプレイをフィンガリングの表示に切り替えます。



FINGERINGボタンを押すと、現在選択されているフィンガリングのナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

2 フィンガリングの種類を選択します。



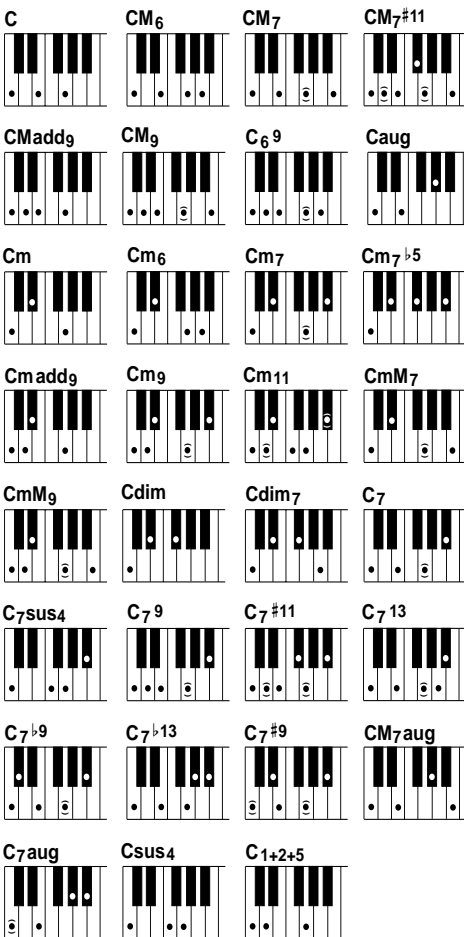
フィンガリングナンバー表示中に、パネルのリストを参考に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [5]、またはFINGERINGボタンを使って「1」コード1、「2」コード2、「3」シングル、「4」マルチ、「5」フルの中から好みのフィンガリングを選択してください。

CHORD 1 (コード1) このモードでは、スプリットポイントより左側の鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれたアカンパニメントスタイルに従って自動伴奏が演奏されます。



コード1モードで認識されるコードの押さえ方 (基本形)

[C の押鍵例]



メジャー [M]	1-3-5
メジャーシックス [M6]	1-3-5-6
メジャーセブンス [M7]	1-3-(5)-7
メジャーセブンスシャープイレブンス [M7#11] 1-(2)-3-#4-(5)-7	
メジャーアッドナインス [Madd9]	1-2-3-5
メジャーナインス [M9]	1-2-3-(5)-7
メジャーシックスアッドナインス [6 9]	1-2-3-(5)-6
オーギュメント [aug]	1-3-#5
マイナー [m]	1-b3-5
マイナーシックス [m6]	1-b3-5-6
マイナーセブンス [m7]	1-b3-(5)-b7
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5] 1-b3-b5-b7	
マイナーアッドナインス [madd9]	1-2-b3-5
マイナーナインス [m9]	1-2-b3-(5)-b7
マイナーイレブンス [m11]	1-(2)-b3-4-5-(b7)
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1-b3-(5)-7
マイナーメジャーナインス [mM9]	1-2-b3-(5)-7
ディミニッシュ [dim]	1-b3-b5
ディミニッシュセブンス [dim7]	1-b3-b5-6
セブンス [7]	1-3-(5)-b7
セブンスサスフォー [7sus4]	1-4-5-b7
セブンスナインス [7 9]	1-2-3-(5)-b7
セブンスシャープイレブンス [7#11] 1-(2)-3-#4-(5)-b7	
セブンスサーティーン [7 13]	1-3-(5)-6-b7
	または 2-3-5-6-b7
セブンスフラットナインス [7b9]	1-b2-3-(5)-b7
セブンスフラットサーティーン [7b13] 1-3-5-b6-b7	
セブンスシャープナインス [7#9]	(1)-#2-3-(5)-b7
メジャーセブンスオーギュメント [M7aug]	1-3-#5-7
セブンスオーギュメント [7aug]	(1)-3-#5-b7
サスフォー [sus4]	1-4-5
ワンプラストウープラスファイブ [1+2+5]	1-2-5



メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、フィンガリングナンバーは初期設定 = 1 になります。

メモ

オートアカンパニメントがオンの時 (フィンガリングモード1~4共通) のスプリットポイントの初期設定は55です。スプリットポイントの変更方法はP.16の「スプリットポイント」の項を参照してください。

カッコ () 内の音符は省略しても構いません。

パーフェクトフィフス (完全5度) の押鍵ではルート音と5度の音によるアカンパニメントが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ (完全8度) の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

フィンガリングがコード1/コード2の時、黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみの伴奏になります。(コードキャンセル)

メモ

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下の場合を例外とします。

M6は基本型のみ検出し、転回形はすべてm7とみなします。

6 9は基本型のみ検出し、転回形はすべてm11とみなします。

m6は基本型のみ検出し、転回形はすべてm7b5とみなします。

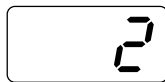
1+2+5は基本型のみ検出し、転回形はすべてsus4とみなします。

aug, dim7は押鍵の最低音を根音とみなします。

7#11は押鍵の最低音を根音またはb7とみなします。

オートアкомпニメントを使って演奏しましょう (AUTO ACCOMPANIMENT)

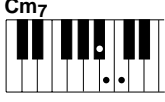
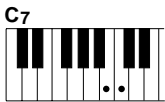
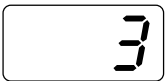
CHORD 2 (コード2) このモードでは、コード1で認識するコードに加え、分数コード (=on コード: 押さえたコード音の中で一番低い音がベース音になります) も認識しますので、より高度なコード進行を利用した演奏が可能になります。



コード2モードで分数コードを認識させるには、各コードの転回形を使用します。

例えば、Cのコードはド (C) ミ (E) ソ (G) で構成され、基本形ではド (C) を最低音として押鍵されます。PSR-410ではこのコードを転回させて押鍵することにより、分数コードを認識させます。具体的には、鍵盤の低音域からミ (E) ソ (G) ド (C) の順に押鍵すればC/E (C on E)、ソ (G) ド (C) ミ (E) の順に押鍵すればC/G (C on G) と認識されます。

SINGLE (シングル) このモードではスプリットポイントより左側の鍵盤で、1~3本の指でメジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを作ることができます。そして、そのコードと選ばれたアкомпニメントスタイルに従って自動伴奏が演奏されます。



シングルモードで認識されるコードの押さえ方

メジャー (M) コード

ルートキーを押さえてください。

マイナー (m) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

セブンス (7) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。

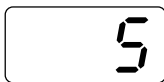
マイナーセブンス (m7) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

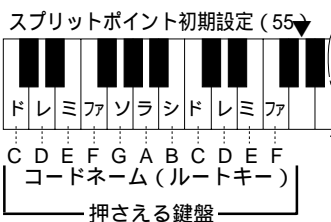
MULTI (マルチ) このモードでは、コードをコード1で押さえてもシングルで押さえても自動的にコードを識別します。



FULL (フル) このモードは全鍵域でコードを検出し (押さえ方はコード1と同じ方式) ます。また、同時に通常の鍵盤演奏もできます。



メモ 全モと押さえる鍵盤



メモ

2鍵以上押さえた鍵盤のうち、最高音以外の鍵盤が全て黒鍵で、コード1モードでコードが検出されない場合は、最高音が根音のマイナーコードになります。

3鍵以上押さえた鍵盤のうち、最高音以外の鍵盤に黒鍵と白鍵があり、コード1モードでコードが検出されない場合は、最高音が根音のマイナーセブンスコードになります。

2鍵以上押さえた鍵盤のうち、最高音以外の鍵盤が全て白鍵で、コード1モードでコードが検出されない場合は、最高音が根音のセブンスコードになります。

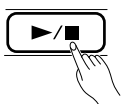
コード押鍵の最低音より1オクターブ以下の単音はベース音の指定、11度以上の音はすべてメロディ音となります。

アカンパニメントコントロール

アカンパニメントのスタート

アカンパニメントのスタート方法には以下の3種類があります。

START/STOP



スタート

- ▶ START/STOPボタンを押すと同時に、リズムがスタートします。
- コードを押さえるまで、リズムだけの演奏を繰り返します。

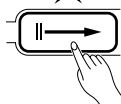
SYNC-START/STOP



シンクロスタート

- ▶ SYNC-START/STOPボタンを押すと、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットが同時に点滅して、シンクロスタートの待機状態になります。
- コードを押さえると自動伴奏がスタートします。

INTRO



イントロスタート

- ▶ INTROボタンを押してからSTART/STOPボタンを押すと、イントロパターンからリズムがスタートします。
- コードを押さえるまでリズムだけの演奏を繰り返します。
- シンクロ待機状態でINTROボタンを押すとシンクロイントロスタートになり、コード押鍵と同時にイントロパターンを演奏します。

スタート後、鍵盤の左手鍵域でコードを押さえると、設定したフィンガリングのコード押鍵ルールに従って、コードに合った伴奏が自動的に演奏されます。自動伴奏は鍵盤から左手を離しても続きます。

メモ

AUTO ACCOMPをオフに設定している（ランプ消灯）場合は、リズムだけの演奏を繰り返します。

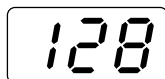
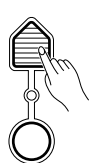
シンクロ待機状態でもう一度SYNC-START/STOPボタンを押すと、シンクロ待機状態はキャンセルされます。

アカンパニメントは、どのセクション（P.24参照）からもスタートすることができます。シンクロ待機状態でセクションボタンを押し、コードを押鍵すると、選択したセクションのアカンパニメントがスタートします。

テンポの調整 (TEMPO)

リズム / アカンパニメントやソングメモリーなどのテンポを調節することができます。

TEMPO



METRONOME

- 1 TEMPOボタンを押すと、現在設定されているテンポ（♩=1分間の4分音符の数）がマルチディスプレイに表示されます。

- 2 テンポの表示中にナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って040 ~ 240の範囲でテンポを設定します。

ビートディスプレイについて

	6拍子系			4拍子系			3拍子系		
BEAT	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1拍目	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2拍目	●	○	○	●	○	○	●	○	○
3拍目	○	●	○	○	●	○	○	●	○
4拍目	○	○	●	○	○	●			
5拍目	○	○	●						
6拍目	○	○	●						

オートアカンパニメントがスタートすると、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットが設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート（拍数）を表示します。

メモ

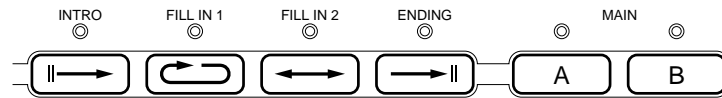
TEMPOボタンを押してテンポ値を設定することもできます。

[+] [-] ボタンを同時に押すと、アカンパニメントスタイルそれぞれの初期設定テンポに戻ります。

リズムがストップしているときにアカンパニメントスタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期設定テンポがセットされますが、リズム演奏中にアカンパニメントスタイルを変更してもテンポは変わりません（ワンタッチセッティングがONの場合を除く）。

アカンパニメントのセクションについて

オートアカンパニメントは、曲の構成に応じてアカンパニメントの編曲をいろいろと変化させるために、イントロ、メイン、フィルイン1、フィルイン2、エンディング（メイン、フィルイン1、フィルイン2はそれぞれにA/B2種類ずつ）、合計8種類のセクションを持っています。これらを演奏中に切り替えることによって、自由に1つの曲を作ることができます。



イントロ (INTRO) セクション

イントロダクション（曲の始まりの部分）です。イントロセクションの演奏が終了するとメインセクションに移行します。

メイン (MAIN) セクション

曲のメイン部分の演奏で、A/B2つのバリエーションがあります。演奏したコードに基づいたアカンパニメントが自動的に演奏されます。

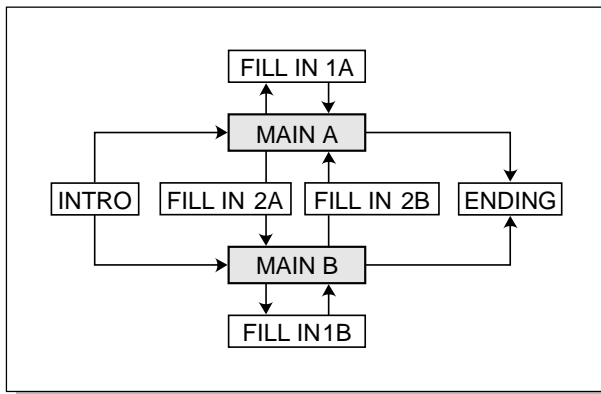
フィルイン (FILL IN 1/2) セクション

曲の流れに区切りをつけて、演奏を盛り上げる1小節のセクションです。FILL IN 1/2ボタンを押せば、フィルインが演奏され、アカンパニメントにアクセントをつけることができます。フィルイン1/2、それぞれ2つずつ（A/B）のバリエーションがあります。

- FILL IN 1 FILL IN 1 Aは、メインAからメインAへつなげるフィルインです。
FILL IN 1 Bは、メインBからメインBへつなげるフィルインです。
- FILL IN 2 FILL IN 2 Aは、メインAからメインBへつなげるフィルインです。
FILL IN 2 Bは、メインBからメインAへつなげるフィルインです。

エンディング (ENDING) セクション

エンディング（曲の終わりの部分）です。
エンディングセクションの演奏が終わると、アカンパニメントはストップします。



これらの関係を分かりやすく示したものが次の図です。
セクションの演奏中に、他のセクションボタンを押すことで、次の演奏セクションの指定（ランプ点滅）をすることができます。

メモ

電源を入れた時は、必ずメインAのランプが点灯します。

メモ

小節内の最後の1拍目以降にFILL IN 1, FILL IN 2ボタンを押すと、次の小節の頭からフィルインが始まります。

フィルインの演奏中は、メインAまたはBのランプが点滅してフィルイン後の行き先のセクションを知らせます。点滅中にMAIN A/Bボタンを押せば、行き先を変更することも可能です。

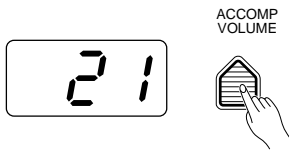
ヒント

曲中でINTROボタンを押すと、イントロ演奏をフィルインのように使うことができます。たとえば、ドラム音だけのイントロを曲中で挿入すれば、演奏にドラムソロが加えられます。また、イントロ演奏中にINTROボタンを押せば、イントロが繰り返されて長いイントロになります。

フィルイン、エンディングから演奏をスタートし、イントロとして使うことができます。

ア कंपボリューム（伴奏音量）の調節

ACCOMP VOLUMEボタンを使って、ア कंपニメントの音量を00～24の範囲で調節すること



ができます。

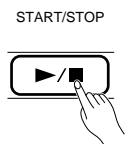
- ▶ ACCOMP VOLUMEボタンを押すと、現在設定されているア कंपボリュームがマルチディスプレイに表示されます。

ア कंपボリュームの表示中にナンバー選択ボタン [+], [-], [0]～[9]、またはACCOMP VOLUMEボタンを使って設定してください。

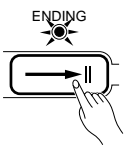
メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 21に戻ります。

ア कंपニメントのストップ



- ▶ START/STOPボタンを押すとア कंपニメントがストップします。



- ▶ エンディングを演奏してからストップしたい場合は、ENDINGボタンを押してください。次の小節からエンディングを演奏し、終了後ストップします。

メモ

エンディングの演奏中にメインA/B、またはイントロセクションのボタンを押すと、エンディングを演奏した後、指定したセクションの演奏が継続されます。

エンディングの演奏中にFILL IN 1/2ボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、次の小節からメインセクションの演奏が継続されます。

リボイス

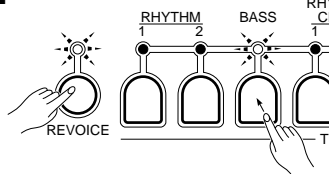
リボイスは、ア कंपニメントスタイルを構成するトラック（RHYTHM 1, RHYTHM 2, BASS, RHYTHMIC CHORD 1, RHYTHMIC CHORD 2, PAD CHORD, PHRASE 1, PHRASE 2）ごとに、音色などのボイスの設定を変更する機能です。

このリボイス機能を活用することで、ア कंपニメントの可能性が無限に広がります。

リボイスでは、以下の設定が変更できます。

ボイスナンバー（パーカッションキットナンバー） ボリューム オクターブ パン

1 リボイスするトラックを選択します。



ア कंपニメントスタイルを選択した後、REVOICEボタンを押しながら、設定を変更するTRACKボタンを押します。REVOICEランプと指定したTRACKランプが点滅し、マルチディスプレイにそのトラックに使用されているボイスナンバーが表示されます。この時、鍵盤を演奏すると表示中のボイスナンバーで発音します。

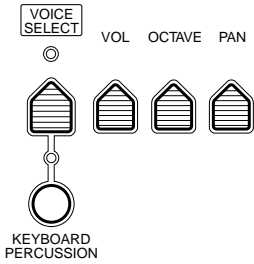
メモ

REVOICEボタンを押しながら、TRACKボタンのRHYTHM1または、2を押すと、キーボードパーカッションが自動的にオンになります。

リボイスランプ点滅中はオーケストレーションパートのエディットはできません。

オートアカンパニメントを使って演奏しましょう (AUTO ACCOMPANIMENT)

2 各種ボイス設定を変更します。



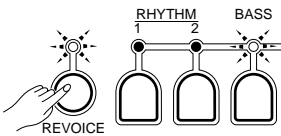
ボイスナンバー（パーカッションキットナンバー）、ボリューム、オクターブ、パンの設定を必要に応じて変更します。（P.9, 13参照）
この時鍵盤を演奏すれば、それぞれの設定を確認することができます（オクターブ以外）。また、アカンパニメントをスタートすれば、他のトラックとのバランスも確認できます。

メモ

リボイスがオンの時にアカンパニメントスタイルを変更すると、リボイス（変更）したトラックデータは、そのまま新しいスタイルのトラックデータになります。ただし、リボイスしていないトラックデータは、新しいスタイルのトラックデータに変更されません。

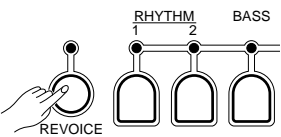
3 1, 2 を繰り返して、変更したいトラックをリボイスします。

4 リボイスしたデータを確定します。



トラックごとのリボイスを終了したら、REVOICEボタンを押します。REVOICEランプとリボイス中のTRACKランプが点灯に変わり、リボイスしたデータが確定されます。

5 リボイスをオフにします。



REVOICEボタンを押すと、REVOICEランプが消灯し、リボイスがオフになります。リボイスの設定はキャンセルされて現在選択されているスタイルのプリセット設定に戻ります。

メモ

リボイスをオフにしても、アカンパニメントスタイルを変更しない限り、リボイスデータは記憶されますので、REVOICEボタンを押してオンにするたびに、何度でも呼び出すことができます。

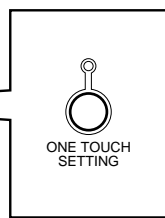
!! 注意

リボイスをオフにした後、アカンパニメントスタイルを変更すると、各トラックの設定は初期設定に戻り、リボイスで変更したデータは失われてしまいます。リボイスデータを保存する場合は、アカンパニメントスタイルを変更する前に、レジストレーションメモリー（P.28参照）に記憶させてください。

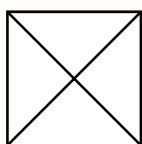
ワンタッチセッティングを活用しましょう

PSR-410には80種類のアカンパニメントスタイルそれぞれに、最も適したボイス設定（ボイス、エフェクトなどの組み合わせ）がプリセットされています。ONE TOUCH SETTINGボタンを押せば、その設定をワンタッチで呼び出すことができるため、ボイスやエフェクトなどをひとつひとつ設定しなくても、アカンパニメントにぴったりのサウンドですぐに演奏を始めることができ、たいへん便利です。

このイラストはPDF上では表示されません。



ワンタッチセッティングの呼び出し



- 1 スタイルを選択します。
- 2 ONE TOUCH SETTINGボタンを押します。 現在
選ばれているアカンパニメントスタイルに適したボイス設定が、すぐにパネルに呼び出されます。
- 3 演奏しましょう。

[ワンタッチセッティング設定内容]

オーケストレーション
オーケストレーション各パートのボイスナンバー、ボリューム、パン、オクターブ、ハーモニーオン/オフ&タイプ
アカンボリューム (21)
選択されているアカンパニメントスタイルの初期設定テンポ
アカンパニメントトラックの設定 (オン/オフ)
オートアカン (オン)
リボイス (オフ)
キーボードパーカッション (オフ)
オートアカンパニメントのスプリットポイント (55)
オーケストレーション (右手鍵域・左手鍵域) のスプリットポイント (69)

メモ

アカンパニメントストップ中に、ONE TOUCH SETTINGボタンを押すと、自動的にシンクロスタート待機状態になります。

ONE TOUCH SETTINGランプ点灯中に、スタイルを変更すると新しく選ばれたスタイルに適したボイス設定がすぐに呼び出されます。

ヒント

ワンタッチセッティングで呼び出したパネルの設定を変更して、オリジナルのセッティングを作ってみましょう。オリジナルセッティングは、レジストレーションメモリー (P.28参照) に記憶すれば、いつでも呼び出すことができます。

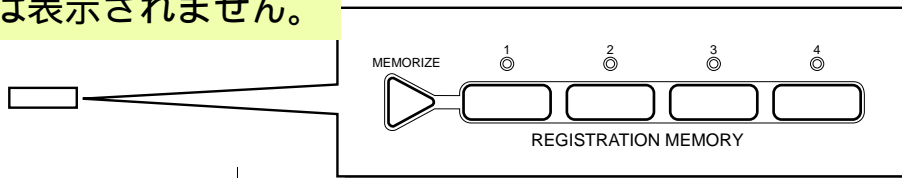
レジストレーションを記憶させましょう (REGISTRATION MEMORY)

レジストレーションメモリーとは、レジストレーション（ボイス、アカンパニメント、オーバーオールコントロール）を4種類（1～4）まで記憶（メモリー）させ、演奏中でもワンタッチで呼び出すことができる機能です。



PSR-410のレジストレーションメモリーには、あらかじめ初期設定でデータがプリセットされています。プリセットデータ呼び出して演奏してみましょう。（プリセットデータ...P.51参照）

このイラストはPDF上では表示されません。



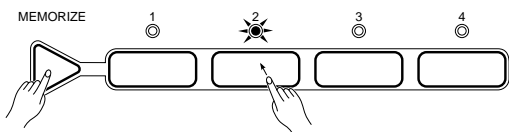
レジストレーションの記憶

- 1 レジストレーションをセットします。.....
レジストレーション（ボイス・オートアカンパニメント・オーバーオールコントロールなど）を記憶させたい状態にセットします。

レジストレーションメモリーで記憶できるデータ

ボイスデータ	アカンパニメントデータ
<ul style="list-style-type: none"> ボイスナンバー（R1/R2/L1/L2） キーボードパーカッションオン/オフおよびキットナンバー ボリューム（R1/R2/L1/L2/キーボードパーカッション） パン（R1/R2/L1/L2/キーボードパーカッション） オクターブ（R1/R2/L1/L2/キーボードパーカッション） 	<ul style="list-style-type: none"> スタイルナンバー アカンパニメントボリューム トラックオン/オフ リボイスオン/オフ、およびオンの時のリボイスデータ テンポ スプリットポイント（オートアカンパニメントモード） トランスポーズ アカンパニメントオン/オフ フィンガリング

- 2 レジストレーションを記憶します。.....



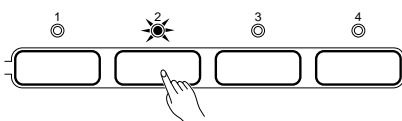
MEMORIZEボタンを押しながら、REGISTRATION MEMORYボタンの1～4のいずれかを押しください。

指定したREGISTRATION MEMORYナンバーのランプが点灯し、レジストレーションが記憶されます。



レジストレーションを記憶すると、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたデータは消去され、新しいデータに書き換えられます。

レジストレーションの呼び出し



- ▶ REGISTRATION MEMORY 1～4ボタンを押すと、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたレジストレーションデータがすぐに呼び出されます。呼び出されたレジストレーションデータがパネル上で変更されると、点灯していたREGISTRATION MEMORYナンバーのランプが点滅に変わります。



プリセットデータはP.50の「初期化」によって呼び出せます。

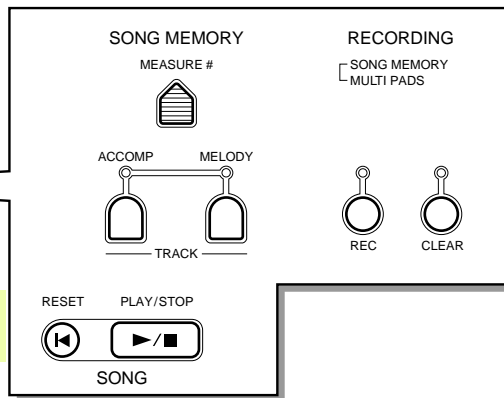
録音機能を活用しましょう (RECORDING)

パネルのRECORDING部では、ソングメモリー、マルチパッドへの録音操作を行います。録音方法は、カセットテープレコーダーに録音するように、演奏をリアルタイムで録音します。

録音方法は基本的に共通ですので、録音の手順を覚えれば、手軽に録音を楽しむことができます。



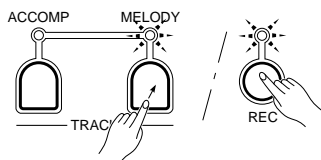
注意 録音中、録音待機中に電源を切ると、録音データが失われてしまいますのでご注意ください。



このイラストはPDF上では表示されません。

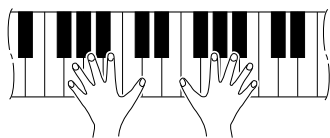
録音の基本操作を覚えましょう

1 録音待機状態にします。



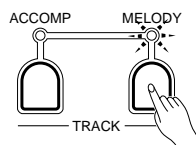
ソングメモリー (P.30参照)、マルチパッド (P.34参照)、それぞれの録音前の準備の後、RECボタンを押しながら録音するトラック、またはパッドを押して録音待機状態 (シンクロナイズド待機状態) にします。

2 録音をスタートします。



鍵盤で演奏を始めると、録音がスタートします (シンクロナイズドスタート)。
録音中は、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットがテンポに合わせて点滅します。

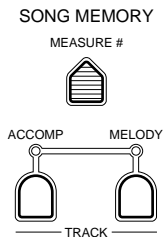
3 録音をストップします。



録音中のトラックボタン、またはパッドを押すと録音がストップします。

ソングメモリーの録音

ソングメモリーは、ACCOMPトラックにコード進行やセクションの変更データなどを、MELODYトラックにメロディ演奏を録音する機能です。ソングメモリーは、ページメモリーの各ページに1曲ずつ、合計4曲録音できます。録音できるデータは以下のとおりです。



- ACCOMPトラックに録音できるデータ
- ・アカンパニメントのスタート/ストップ
 - ・セクションボタン (INTRO, FILL IN 1, FILL IN 2, ENDING, MAIN A/B) のオン/オフ
 - ・アカンパニメントスタイルナンバー
 - ・アカンパニメントボリューム
 - ・リボイスオン/オフ、およびその内容
 - ・アカンパニメントトラックオン/オフ
 - ・コード変更
 - ・テンポ

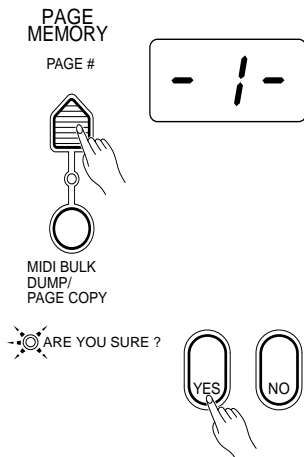
- MELODYトラックに録音できるデータ
- ・ノートオン/オフ (押鍵/離鍵)
 - ・ベロシティ (押鍵の強弱)
 - ・ボイスナンバー
 - ・キーボードパーカッションがオンの時のパーカッションキットナンバー
 - ・ボリューム
 - ・パン
 - ・ハーモニオン/オフおよび、タイプ
 - ・サステイン (フットスイッチ) オン/オフ
 - ・ピッチベンド
 - ・オクターブ

マルチパッドデータは、録音できません。

ソングメモリーのメモリー容量は「アカンパニメントトラックのコード変更/メロディトラックの音 (キーオン/オフ) を合わせて、1ページあたり最大1600コード/音まで」です。

アカンパニメントトラックの録音

1 ページナンバーを選択します。



PAGE #ボタンを押すと、現在選択されているページナンバーがマルチディスプレイに表示されます。PAGE #ボタンを押して録音するページナンバーを選択してください。新しいページナンバーを選択すると「ARE YOU SURE? (アークユーシュア)」が発音され、ARE YOU SURE?ランプが点滅します。YESボタンを押すとページ選択が確定します。(P.38参照)

メモ

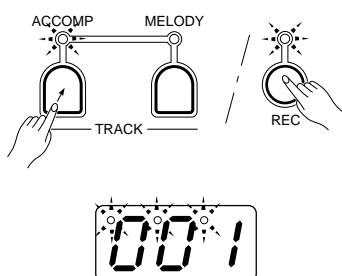
現在選択されているページのソングメモリーに録音する場合、1の操作は必要ありません。

メモ

アカンパニメントトラックの録音待機状態を解除する場合は、ACCOMP TRACKボタンを押してください。SYNC-START/STOPボタンを押しても録音待機状態は解除されません。

2 アカンパニメントスタイル、フィンガリング、アカンパニメントボリューム、メトロノームなどを必要に応じて設定します。

3 アカンパニメントトラックを録音待機状態にします。



RECボタンを押しながら、ACCOMP TRACKボタンを押します。REC、ACCOMP TRACK、SYNC-START/STOPランプが点滅して録音待機状態 (シンクロ待機状態) になります。録音待機状態になると、マルチディスプレイは小節ナンバー表示に変わり、上部の3つのLEDドットがテンポに合わせて点滅します。AUTO ACCOMPがオフの場合は自動的にオンになり、メトロノームがオンになっていれば、設定されているテンポでメトロノーム音が鳴ります。

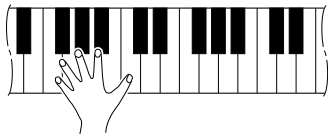
ヒント

録音済みのメロディトラックの演奏を再生しながら、録音することができます。TRACKボタンを押して、メロディトラックの再生をオン/オフしてください。

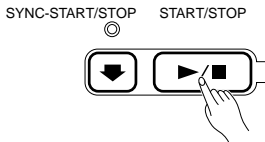
アカンパニメントトラックとメロディトラックは同時に録音することができます。RECボタンを押しながら、ACCOMP TRACK、MELODY TRACKボタンを続けて押してください。

ソングメモリートラックの録音待機中に電源を切ると、現在選ばれているページのソングメモリーデータだけをクリア (消去) することができます。

4 録音をスタートします。



左手鍵域で演奏を始めると、RECランプが点灯に変わり、録音がスタートします（シンクロスタート）。



また、START/STOPを押してもスタートしますが、コードを押さえるまで、リズムのみの録音になります。

録音中、マルチディスプレイは小節ナンバーを表示し、上部の3つのLEDドットがテンポに合わせて、点滅します。

メモ

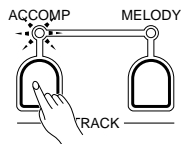
録音待機状態でMIDI INから押鍵情報を受信すると、録音をスタートさせることができます。（MIDI受信モードの設定についてはP.40を参照してください）

PLAY/STOPボタンを押しても録音はスタートしますが、コードを押さえるまで何も録音されません。

!! 注意

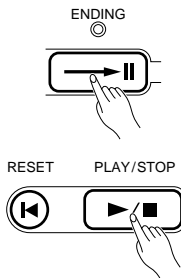
録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

5 録音をストップします。



録音中のACCOMP TRACKボタンを押すと録音がストップします。

また、PLAY/STOP、ENDINGボタンを押しても録音がストップします（ENDINGボタンを押した場合、エンディングパターンを演奏してからストップします）。



録音終了後、PSR-410が録音データを処理する間、マルチディスプレイに「---」が表示されます。また、録音した曲は録音を開始した小節に戻ります。

メモ

録音途中でメモリー容量がいっぱいになると、マルチディスプレイに「End」が表示された後、録音は自動的にストップします。ただし、「End」が表示されるまでのデータは録音されています。

録音中に他の機能ボタンを押すと、マルチディスプレイはその機能の設定値を表示しますが、数秒間何の操作もしないと、自動的に小節ナンバー表示に戻ります。

録音終了後、数秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー表示に戻ります。

メロディトラックの録音

1 ページナンバーを選択します。

ア कंपトラック同様、PAGE #ボタンを押して録音するページを選択し、YESボタンを押してページを確定します。（P.38参照）

メモ

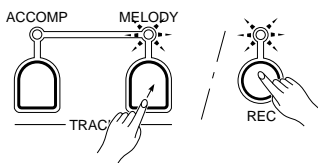
現在選択されているページのソングメモリーに録音する場合、1の操作は必要ありません。

2 オーケストレーションR側（R1、R2）のボイスナンバー、ボリューム、パンなど、必要に応じて設定します。

メモ

オーケストレーションのR1、R2がソングメモリーのメロディトラックに録音できます。L側パートは録音できません。

3 録音トラックを選び、録音待機状態にします。



RECボタンを押しながら、MELODY TRACKボタンを押します。REC、MELODY TRACKランプが点滅して録音待機状態（シンクロ待機状態）になります。録音待機状態になると、マルチディスプレイは小節ナンバー表示に変わり、上部のLEDドットがテンポに合わせて点滅します。メトロノームがオンの場合は、設定されているテンポでメトロノーム音が鳴ります。

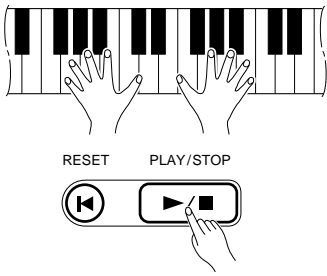


♪ ヒント

メロディトラックは、録音済みのア कंपトラックを再生しながら録音すると、演奏のタイミングなどが分かり、たいへん便利です。

録音機能を活用しましょう (RECORDING)

4 録音をスタートします。



鍵盤で演奏を始めると、録音がスタートします (シンクロナスタート)。

また、PLAY/STOPボタンを押しても録音がスタートします。

録音中は、マルチディスプレイは小節ナンバーを表示し、上部の3つのLEDドットがテンポに合わせて点滅します。

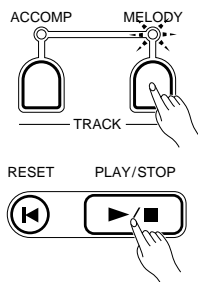
メモ

録音待機状態でMIDI INから押鍵情報を受信すると、録音をスタートさせることができます。(MIDI受信モードの設定についてはP.40を参照してください)

!! 注意

録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

5 録音をストップします。



MELODY TRACKボタンを押すと録音がストップします。

また、PLAY/STOPを押しても録音をストップすることができます。

録音終了後、PSR-410が録音データを処理する間、マルチディスプレイに「---」が表示されます。また、録音した曲は録音を開始した小節に戻ります。

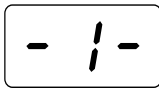
メモ

録音途中でメモリー容量がいっぱいになると、マルチディスプレイに「End」が表示された後、録音は自動的にストップします。ただし、「End」が表示されるまでのデータは録音されています。

録音終了後、数秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー表示に戻ります。

再生

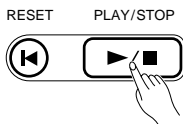
1 ページナンバーを必要に応じて選択します。



PAGE #ボタンを押して、再生したいソングの入っているページナンバーを選択し、YESボタンを押してページを確定します。(P.38参照)

この時、録音データが記録されているトラックは自動的にランプが点灯します。再生させたくないトラックは、ボタンを押してランプを消灯させてください。

2 再生をスタート/ストップします。



PLAY/STOPボタンを押すと再生がスタートします。

再生中、マルチディスプレイは、小節ナンバーを表示します。

録音データを最後まで再生するとソングは自動的にストップします。

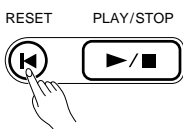
再生途中でストップする場合は、PLAY/STOPボタンをもう一度押してください。

♪ ヒント

ソングメモリーを再生させながら、演奏することもできます。

再生中に他の機能ボタンを押すと、マルチディスプレイはその機能の設定値を表示しますが、数秒間何の操作もしないと、自動的に小節ナンバー表示に戻ります。

RESET (リセット) ボタン



RESETボタンを押すとマルチディスプレイは1小節目 (曲の頭) に戻り、録音データが記憶されているトラックは自動的にランプが点灯します。

特定の小節からの録音

特定の小節から、ソングメモリーに録音することができます。

たとえば6小節のデータがすでに録音してあれば、1小節目から再び録音したり、途中の小節から改めて録音したり、7小節目からその続きを録音することなどができます。

1 録音を始める小節を指定します。



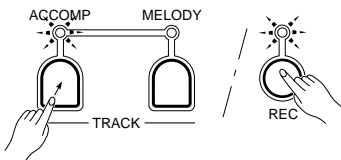
MEASURE #ボタンを押すと、マルチディスプレイに現在の小節ナンバーが表示されます。小節ナンバー表示中に、ナンバー選択ボタン[+]、[-]、[0]～[9]、またはMEASURE #ボタンを使って録音を始める小節を指定します。

メモ

指定した小節から、再生をスタートすることもできます。

たとえば6小節のデータを持っている場合は、1～7の小節ナンバーを指定することができます。8以上のナンバーは指定できません。

2 録音待機状態にします。



RECボタンを押しながら録音したいTRACKボタン（ACCOMPまたは、MELODYのどちらか）を押します。REC、TRACKランプが点滅して録音待機状態になります。

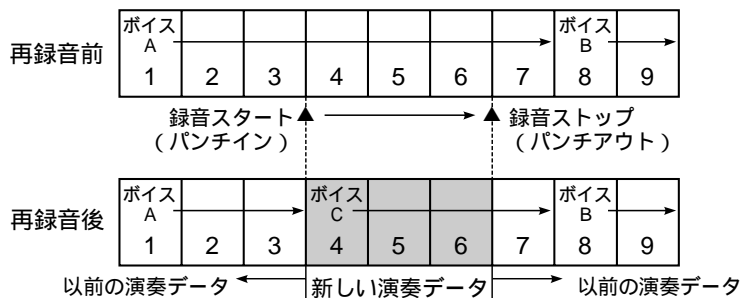
3 録音をスタート/ストップします。

P.30の「ア कंपト ラックの録音」、P.31の「メロディトラックの録音」を参照して、録音をスタート/ストップしま

特定の小節からの再録音（パンチイン/パンチアウト）

録音データのある範囲内で、部分的な再録音（パンチイン/パンチアウト）が可能です。

4小節目から6小節目までを再録音します。



ボイス、ボリューム、パン、ピッチベンド、テンポ、ハーモニーオン/オフ、リボイスデータ、デュアルオン/オフのデータは、パンチアウト以降もパンチアウトした時のデータに書き換えられます。ただし、パンチアウト以降にデータ変更が録音されている場合は、そのデータ変更の直前までが書き換えられます。

メモ

録音は小節単位で行われます。小節の途中でパンチアウトすると、その小節の残りに休符が録音されてしまいますのでご注意ください。

す。

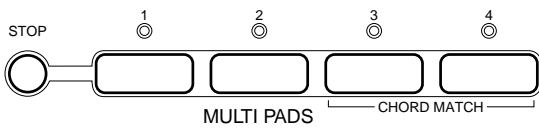
マルチパッドの録音

マルチパッドは、さまざまなフレーズやドラムサウンドなどを録音しておき、演奏中にワンタッチで再生できる機能です。マルチパッドには、16種類の多彩なプリセットフレーズがありますが、オリジナルのフレーズを録音し、演奏中もパッドを押すだけで、いつでも挿入できます。

マルチパッドは2種類あります。

マルチパッド1・2... 録音した演奏内容をそのまま再生するパッドです。ファンファーレやドラムなどのフレーズを録音するとよいでしょう。

マルチパッド3・4... コードマッチタイプです。オートアカンパニメントのコードタイプとルート音に応じて、音程をトランスポーズして再生するパッドです。オートアカンパニメントと一緒に使用すれば、演奏したコードに合ったフレーズを再生することができます。



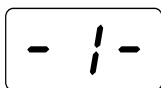
マルチパッドに録音できるデータ

- ・ノートオン/オフ (押鍵/離鍵)
- ・パン
- ・ベロシティ
- ・オクターブ
- ・ボイスナンバー
- ・ハーモニーオン/オフおよび、タイプ
- ・キーボードパーカッションがオンの時のパーカッションキットナンバー
- ・サステイン (フットスイッチ) オン/オフ
- ・ボリューム
- ・ピッチベンド

マルチパッドに録音できるメモリー容量は「1ページあたり、約450音 (パッド1~4トータル)」です。

録音

1 ページナンバーを選択します。



PAGE #ボタンを押して録音するページを選択し、YESボタンを押してページを確定します。(P.38参照)

メモ

現在選択されているページのマルチパッドに録音する場合、1の操作は必要ありません。

2 オーケストレーションR側のボイスナンバー、ボリュームなど、必要に応じて設定します。

メモ

オーケストレーションのR1、R2がマルチパッドに録音できます。

3 録音するマルチパッドを指定して録音待機状態にします。



RECボタンを押しながら、録音するマルチパッドを押します。REC、マルチパッドランプが点滅して録音待機状態になります。

メモ

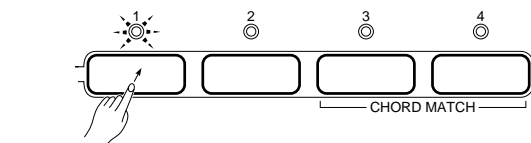
マルチパッドには、あらかじめプリセットデータが録音されています。演奏を録音すると、プリセットデータは消去されますが、初期化 (P.62参照) の操作を行うと再び呼び出すことができます。

マルチパッドが録音待機状態になると、オートアカンパニメントは自動的にオフになります。

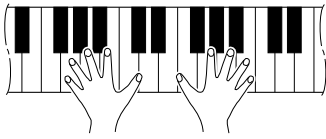
ヒント

メトロノームをオンにすると録音中もクリック音が鳴り、演奏タイミングの目安になります。

マルチパッドの録音待機中に電源を切ると、現在選ばれているページのマルチパッドデータだけをクリア (消去) し、プリセットデータに戻すことができます。



4 録音をスタートします。



鍵盤で演奏を始めると、録音がスタートします（シンクロスタート）。

また、PLAY/STOPボタンを押しても録音がスタートします。

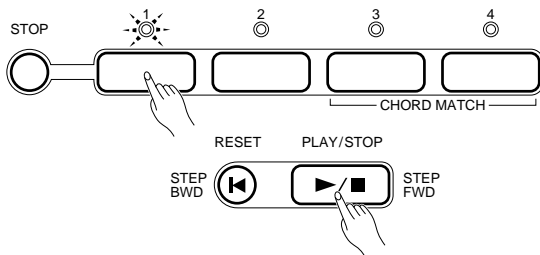
録音中は、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットがテンポに合わせて点滅します。マルチパッド3、4（コードマッチタイプ）の録音はCM7のキーで行ってください。再生時に、CM7コードを基に自動的に他のコードに変更されます。

!! 注意

録音すると、そのパッドに以前録音されていた演奏データは消去され、新しく録音したデータに書き替わります。

PLAY/STOPボタンを押して録音を開始した場合、押鍵するまでは休符が録音されます。

5 録音をストップします。



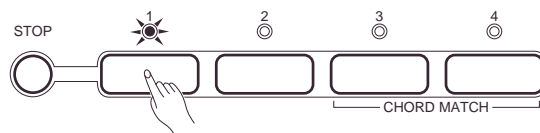
録音中のパッドを押すと録音がストップします。

また、STOP、PLAY/STOPボタンを押しても録音がストップします。

メモ

メモリー容量がいっぱいになると、マルチディスプレイに「End」が表示され、録音は自動的にストップします。ただし、「End」が表示されるまでのデータは録音されています。

再生



▶ マルチパッドを押すと、再生が始まります。

▶ 再生が終了すると、ランプが消灯します。再生を途中でストップしたい場合はSTOPボタンを押します。

メモ

パッドの再生は、その時設定されているテンポで再生されます。複数のパッドを同時に再生することができます。キーボードパーカッションをマルチパッド3、4に録音しても、再生時にトランスポーズされず、マルチパッド1、2に録音した場合と同様の再生になります。

録音データのクリア (CLEAR)

ソングメモリー、またはマルチパッドの録音データをクリア (消去) します。ソングメモリーのクリアは、指定した小節以降の録音データをクリアします。

1 クリアする範囲の最初の小節を指定します。(ソングメモリーの場合)

MEASURE #



MEASURE #ボタン、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って、クリアしたい録音データの先頭の小節ナンバーをマルチディスプレイに表示させます。

2 クリアするトラック、またはパッドを指定します。



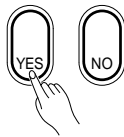
CLEARボタンを押しながら、クリアしたいTRACKボタン、またはパッドを押すと、「ARE YOU SURE? (アーユーシュア)」が発音され、ARE YOU SURE?、CLEAR、指定したTRACK、またはパッドのランプが点滅します。

!! 注意

クリア待機中に電源を切ると、録音データが失われてしまいますのでご注意ください。

3 クリアを実行します。

ARE YOU SURE?



そのまま実行する場合はYESボタンを押し、クリアを中止する場合はNOボタンを押します。

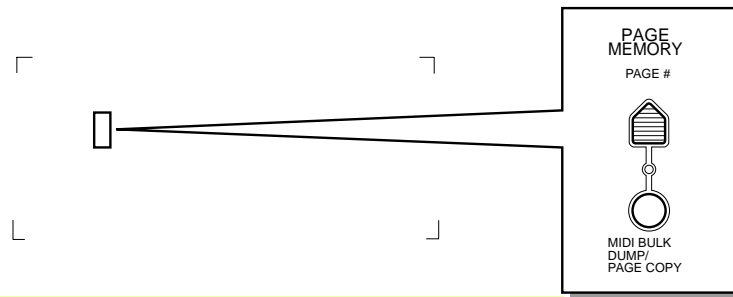
クリアの実行中は、マルチディスプレイに「---」が表示されます。

メモ

「ARE YOU SURE?」の確認の音声を発音させたくない場合は、NOボタンを押しながら電源を入れてください。再び「ARE YOU SURE?」を発音させる場合は、YESボタンを押しながら電源を入れてください。この設定は、電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても記憶されています。

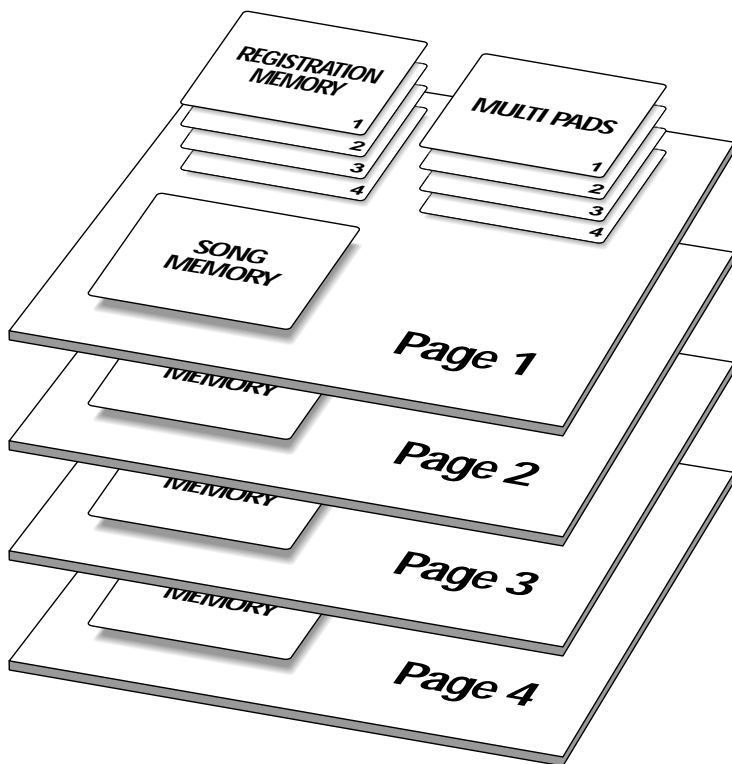
ページメモリーにパネルの状態を記憶させましょう (PAGE MEMORY)

ページメモリーはパネルのセッティング (ソングメモリー、マルチパッド、レジストレーションメモリーなどの設定内容) をまとめて 1 ページ内に記憶させる機能です。PSR-410 は 1 ~ 4 の 4 ページ (PSR-410 のパネル 4 セット分) 記憶することができます。



このイラストはPDF上では表示されません。

PSR-410メモリーのしくみ



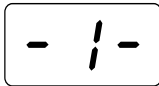
PSR-410はレジストレーションメモリー、ソングメモリー、マルチパッドといったメモリー機能をパネル上に装備しています。そして、それらを総括するのがページメモリーです。ページメモリーは、パネル上の設定内容 (P.38参照) を1ページと考え、4ページまで記憶・呼び出しすることができる機能です。

左の「メモリーのしくみ」を理解した上でページメモリーを活用すれば、レジストレーションは16通り (4×4)、ソングメモリーは4曲 (1×4)、マルチパッドは16パターン (4×4) 記憶できることとなります。

たくさんのレジストレーションをメモリーしたり、ソングライブラリーを作ることはもちろん、ライブ演奏時のようにスピーディなセッティング変更が必要な場合など、あなたのアイデアでページメモリーを活用すれば、より効率よくPSR-410を演奏できるでしょう。

ページメモリーの記憶と呼び出し

1 マルチディスプレイをページナンバーの表示に切り替えます。

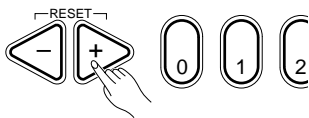


PAGE #ボタンを押すと、マルチディスプレイには現在選択されているページナンバーが表示されます。

メモ

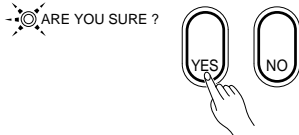
電源を入れた時のページナンバーは1です。

2 ページナンバーを選択します (呼び出します)。



ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [4]、またはPAGE #ボタンを使ってページナンバーを選択してください。

新しいページナンバーを選択すると「ARE YOU SURE? (アークユーシュア)」が発音され、ARE YOU SURE?ランプが点滅します。YESボタンを押すとページ選択が確定します。ページナンバーの変更を中止する場合は、NOボタンを押してください。マルチディスプレイはボイスナンバー表示に戻ります。



ARE YOU SURE? の確認の音声について

「ARE YOU SURE?」の確認の音声を発音させたくない場合は、NOボタンを押しながら電源を入れてください。再び「ARE YOU SURE?」を発音させる場合は、YESボタンを押しながら電源を入れてください。この設定は、電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても記憶されています。

メモ

オートアカンパニメントの演奏中/録音中や、デモソングなどの再生中は、ページの呼び出しはできません。

パネルはYESボタンを押して、ページ選択を確定するまで現在の設定のままです。

新しいページナンバーを選択し、ページ選択モードに入ると、YES/NOボタンを押すか、他の機能ボタンを押すまで、マルチディスプレイはページナンバーを表示しています。

3 パネル内容を変更し、記憶させます。

各種セッティングを変更してレジストレーションメモリーに記憶させたり、ソングメモリーやマルチパッドに録音 (録音内容の変更を含む) します。

ページを呼び出した後のこれらの変更は、そのページの設定内容として自動的にメモリーされます。ページメモリーで記憶できるデータ

- レジストレーションメモリー
 - ・レジストレーションメモリーデータ (P.28参照)
- ソングメモリー
 - ・ソングメモリーデータ (ページを変更すると録音済みのトラックが点灯し、MEASURE# 1にセットされます。)
- マルチパッドデータ

ヒント

既存のページをアレンジして新しいページを作る場合は、ページコピーを行ってから設定を変更すると便利です (P.39参照)。

メモ

チューニング、MIDI受信チャンネル/クロック/コマンド、送信チャンネル、アカンパニメントコントロールはページメモリーに記憶されません。(PSR-410で1つの設定)

ページを変更すると常に、レジストレーションナンバー1が選択されます。

4 呼び出して演奏しましょう。

1、2 同様に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [4]、またはPAGE #ボタンを使ってページナンバーを選択し、YESボタンを押してページを確定します。記憶させた設定が呼び出されますので、演奏してみましょう。

!! 注意

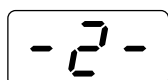
電源アダプターをはずしたり、乾電池が消耗して電源が供給されなくなると、すべてのページの内容が初期化 (工場出荷時の設定に戻る) されます。

ページコピーの方法

あるページの記憶内容を別のページにコピーすることをページコピーといいます。あるページ設定をアレンジして新しいページを作る時や、元のページを保存しておきたい場合に便利な機能です。

ここではページ「2」の記憶内容をページ「3」にコピーしてみましょう。

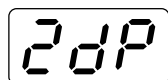
1 パネルにコピーするページ（元）を呼び出します。



PAGE #ボタンを押してマルチディスプレイにページナンバーを表示させます。ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [4]、またはPAGE #ボタンを使って、コピー元のページナンバーを選択し、YESボタンを押してページを確定します。（P.38参照）

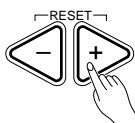
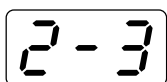
ここではページ「2」を選びます。

2 MIDI BULK DUMP/PAGE COPYボタンを押します。



MIDI BULK DUMP/PAGE COPYボタンを押すと、「ARE YOU SURE? (ア-ユー-シュア?)」が発音され、ARE YOU SURE?ランプとMIDI BULK DUMP/PAGE COPYランプが点滅します。マルチディスプレイには「2dp」が表示されます。

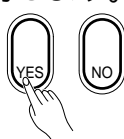
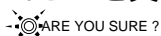
3 コピー先のページを設定します。



ナンバー選択ボタン [+], [-] を使って、コピー先のページナンバーを選択してください。

マルチディスプレイには「2-3」のように、左端にコピー元のページナンバー、右端にコピー先のページナンバーが表示されます。ここではコピー先にページ「3」を選びます。

4 コピーを実行します。



ARE YOU SURE? YESボタンを押すとコピーが実行されます。

コピー終了後のパネルは、コピー元のページ（ページ「2」）になります。

ARE YOU SURE? NOボタンを押すと、コピーは実行されずマルチディスプレイは、ボイスナンバー表示に戻ります。

メモ

「2dp」は2ページのBULK DUMPを表します。詳細はP.43の「MIDIバルクダンプについて」の項を参照してください。

メモ

マルチディスプレイは「2dp」→「2-1」→「2-3」→「2-4」→「2cL」→「2dp」...と切り替わります。コピー元ページは、コピー先ページに指定できません。

!! 注意

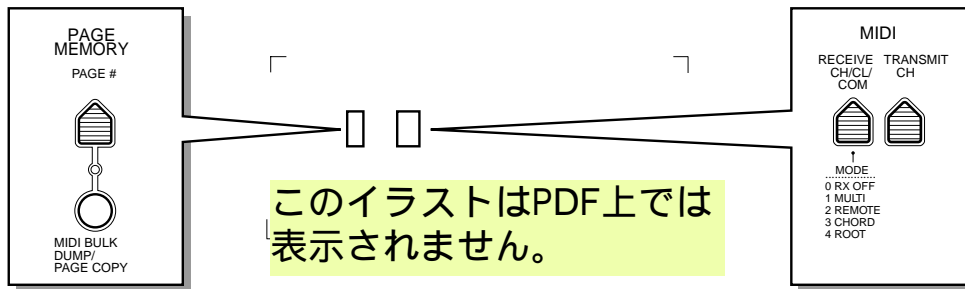
コピー先のページナンバーに「cL」を選択してコピーを実行すると、そのページの内容は初期化（P.50参照）され、記憶されていたパネル内容は失われます。

!! 注意

コピーを実行すると、コピー先のページナンバーに記憶されていたデータは消去され、コピー元のページナンバーのデータに書き変わりますのでご注意ください。

MIDI機能を活用して演奏の幅を広げましょう (MIDI)

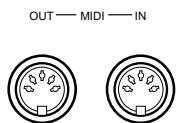
PSR-410はリアパネルにMIDI端子 (MIDI IN、MIDI OUT) がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、PSR-410のMIDI関連の操作方法などについて説明します。



MIDIとは？

MIDI (ミディ) とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし (またはコンピューターなどと) で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。たとえば、複数の MIDI楽器 (機器) をケーブルで接続すれば、機器間で様々な演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。なお、PSR-410の音色配列は「GMシステムレベル1」(P.52参照) に準拠しています。

PSR-410のMIDI端子について



PSR-410のリアパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN.....他のMIDI機器からのMIDI信号を受信します。

MIDI OUT... PSR-410の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。

メモ

MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル (別売) が必要です。楽器店などで買い求めください。

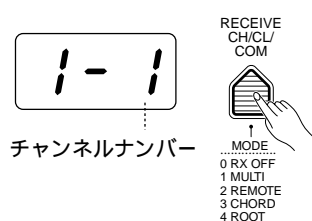
!! 注意

あまり長いケーブルを使用すると、情報伝達が遅れたり、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDI受信

チャンネルごとの受信モードと、全体のクロック (外部機器に同期させるか、させないか)、スタート/ストップコマンド (スタート/ストップメッセージ受信時に、何をスタート/ストップさせるか) を設定します。

受信チャンネル/モードの設定



チャンネルナンバー



モードナンバー

1 RECEIVE CH/CL/COMボタンを押すと、マルチディスプレイの右2桁に現在選択されているチャンネルナンバーが、一番左の桁に現在選択されているモードナンバーが表示されます。

2 チャンネルナンバー表示中に、ナンバー選択ボタン [+] [-], [0] ~ [9]、またはRECEIVE CH/CL/COMボタンを使って、受信チャンネルのナンバーを1~16の中から選択してください。

3 ナンバー選択ボタン [+/-] を押すたびに、マルチディスプレイの一番左の桁に表示されているモードナンバーが「0」→「1」→「2」→「3」→「4」→「0」...と、切り替わります。次頁を参照して5種類の中から使用するモードを選択します。

メモ

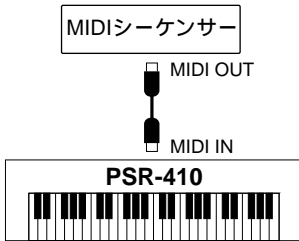
クロック (マルチディスプレイの右二桁に「cL」を表示)、コマンド (右二桁に「cd」を表示) に関しては、P.41、42を参照ください。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても設定された受信モードは記憶されています。

モードナンバー : 0 RX-OFF (受信切)
MIDI信号を受信しません。

モードナンバー : 1 MULTI (マルチ)

受信データがPSR-410の音源に直接入力されますので、外部機器の演奏がPSR-410の音源で鳴ります。

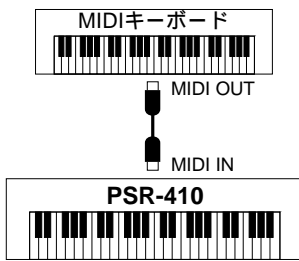


モードナンバー1を選択し、PSR-410のMIDI IN端子と、MIDIキーボードやMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続した場合

- MIDIシーケンサーやMIDIキーボードから複数チャンネルの演奏情報を受信し、PSR-410で複数の音色を同時に鳴らすことができます。
- 全チャンネルをマルチモードにセットすれば、最大16チャンネルのマルチ音源になります。

モードナンバー : 2 REMOTE (リモート)

受信データがPSR-410の押鍵と同様に扱われますので、PSR-410をリモート演奏することができます。



モードナンバー2を選択し、PSR-410のMIDI IN端子と、MIDIキーボードやMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続した場合

- MIDIキーボードでPSR-410を演奏できます。(PSR-410のオートアンプをオンにセットしておけば、MIDIキーボードでPSR-410の自動伴奏を演奏できます。)

モードナンバー : 3 CHORD (コード)

受信データがPSR-410のオートアカンパニメントのコード押鍵と同様に扱われます。

モードナンバー3を選択し、PSR-410のMIDI IN端子と、MIDIキーボードやMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続した場合

- MIDIキーボードでコード押鍵すると、フィンガリングの設定 (P.21参照) にしたがって、PSR-410でオートアカンパニメント (自動伴奏) が演奏されます。

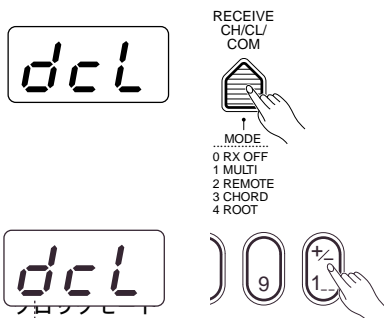
モードナンバー : 4 ROOT (ルート)

受信データが、PSR-410のオートアカンパニメントのコード押鍵のベース音を指定します。このモードでは、分数コードの指定ができます。

モードナンバー4を選択し、PSR-410のMIDI IN端子と、MIDIキーボードやMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続した場合

- MIDIキーボードの押鍵がコードのルート音として認識され、PSR-410でオートアカンパニメント (自動伴奏) が演奏されます。

クロックの設定



1 P.40 受信チャンネル/モードの設定 **1 2** を参照してマルチディスプレイのチャンネルナンバー表示にクロック「cL」を表示させます。

2 ナンバー選択ボタン [+/-] を押すたびに、マルチディスプレイの一番左の桁の表示が「d」→「E」→「d」...と、クロック設定が切り替わります。下記を参照して、使用するクロックを選択します。

「d」(disableのd)を設定すると、PSR-410の内部クロックで作動します。

「E」(EnableのE)を設定すると、MIDIケーブルで接続した外部機器のクロックで作動します。

メモ

モードナンバー1 (MULTI) / モードナンバー2 (REMOTE) の場合、MIDIキーボードで音色を変更すると、PSR-410も同時に音色が変更されます。(送信側の機器に「GMシステムレベル1」規格製品を接続すれば、ほぼ同一音色を設定することができます。)

PSR-410の最大同時発音数は28音です。最大同時発音数に関する詳細はP.44の「最大同時発音数リスト」の項を参照ください。

モード2~4にセットしたチャンネルと送信側のチャンネルは必ず合わせてください。

メモ

PSR-410のオートアンプをオンにする必要はありません。

メモ

PSR-410のオートアンプをオンにする必要はありません。

モードナンバー4 (ROOT) の時、複数の押鍵データを受信すると、後着優先でコードのベース音として認識されます。

メモ

ナンバー選択ボタン [0] ~ [9] を使って「17」([1], [7]) を押すとクロックが選ばれます。

メモ

外部クロックを選択した場合に、PSR-410でテンポを変更しようとするとマルチディスプレイに「EC」(External ClockのEC) を表示し、テンポの変更ができないことを表します。

外部クロックが選択されていても400msec以上外部クロックが入力されない場合、自動的に内部クロックで発音します。

スタート/ストップコマンドの設定



1 P.40 受信チャンネル/モードの設定 **1 2** を参照してマルチディスプレイのチャンネルナンバー表示にコマンド「cd」を表示させます。

2 ナンバー選択ボタン [+/-] を押すたびに、マルチディスプレイの一番左の桁の表示が「0」→「1」→「2」→「0」...と、スタート/ストップコマンドのモードナンバーが切り替わります。下記を参照して3種類の中から使用するモードナンバーを選択します。



モードナンバー



- モードナンバー : 0
スタート/ストップコマンドを受け付けません。
- モードナンバー : 1
オートアカンパニメントがスタート/ストップします。
- モードナンバー : 2
ソングメモリーがスタート/ストップします。

MIDI送信

PSR-410のMIDI OUT端子とMIDIキーボードや音源ユニット、シーケンサーのMIDI IN端子を接続した場合

→ PSR-410の演奏をMIDIシーケンサーに録音できます。コンピュータやシーケンサーのデータ入力にも使用できます。

→ PSR-410で演奏するとMIDIキーボードまたは音源ユニットも同時に鳴り、厚みのある演奏ができます。

鍵盤演奏は1 (変更可能) / 2チャンネル、オートアカンパニメントは10~16チャンネル、ソングメモリーのメロディは3チャンネルで送信されます。

オートアカンパニメントのリズム1、リズム2は、両方とも10チャンネルで送信されます。リズム1、リズム2をそれぞれ別のチャンネルで送信する場合は、C1の鍵盤を押しながら電源を入れてください。リズム1は9チャンネル、リズム2は10チャンネルで送信されます。このようにしてデータファイルに記録すれば、より正確な再生が可能になります。

送信チャンネルの設定



1 TRANSMIT CH ボタンを押すと、マルチディスプレイの右2桁に現在選択されている右手鍵域 (オーケストレーションR側) の送信チャンネルナンバーが表示されます。

2 送信チャンネルナンバー表示中に、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って送信チャンネルナンバーを01~16の中から選択してください。

メモ

ナンバー選択ボタン [0] ~ [9] を使って「18」 ([1], [8]) を押すとコマンドが選ばれます。

メモ

PSR-410で音色を変更するとMIDIキーボードまたは音源ユニットも同時に音色が変更されます。(受信側の機器に「GMシステムレベル1」規格製品を接続すれば、ほぼ同一音色で切り替わります。)

ソングメモリーで録音された演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、録音する機器を録音開始にし、次にPSR-410のソングメモリーのRESETボタン、PLAY/STOPボタンの順に押してください。初期設定を送信します。

オートアカンパニメントの演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、録音する機器を録音開始にし、次にPSR-410のSTYLE SELECTボタンを押してから演奏を始めてください。初期設定を送信します。

ヒント

MIDI送受信データに関する詳細は、P.52「MIDIインプリメンテーションチャート」を参照して、より高度な演奏にチャレンジしてください。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、右手鍵域 (R) の送信チャンネルは初期設定 = 1になります。

左手鍵域 (L) は、常に2チャンネルで送信されます。

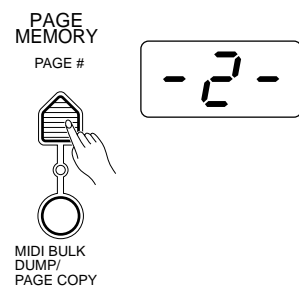
メモ

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても設定された送信チャンネルは記憶されています。

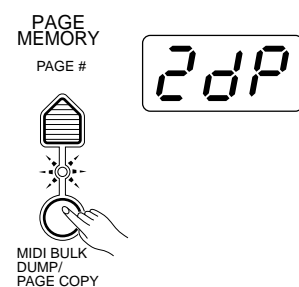
MIDIバルクダンプ (MIDI BULK DUMP) について

MIDIバルクダンプ送信

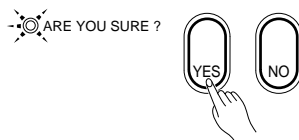
MIDIバルクダンプとは、PSR-410のパネルの設定（マルチパッド、ソングメモリー、レジストレーションメモリー）をページメモリーのページ単位で MIDI OUTから送信する機能です。MIDIバルクダンプを使ってデータをシーケンサーやデータファイラーに記録しておけば、それらのデータを受信すると、自動的にパネルがセットアップされます。



- 1** PAGE #ボタンを押して、マルチディスプレイにページナンバーを表示させます。ナンバー選択ボタン [+], [-], [1] ~ [4]、またはPAGE #ボタンを使って、バルクダンプ送信するページナンバーを選択し、YESボタンを押してページを確定します。
ここではページ「2」を選びます。



- 2** MIDI BULK DUMP/PAGE COPYボタンを押すと、「ARE YOU SURE ? (ア-ユ-シュア ?)」が発音され、ARE YOU SURE ?ランプとMIDI BULK DUMP/PAGE COPYランプが点滅します。このときマルチディスプレイには「2dp」（BULK DUMPのdp）が表示されます。



- 3** ARE YOU SURE ? YESボタンを押すと、MIDI BULK DUMP/PAGEランプが点灯に変わり、バルクダンプが実行されます。バルクダンプの実行中、マルチディスプレイは「-S-」→「-n-」→「-r-」と表示されます。バルクダンプが終了すると、MIDI BULK DUMP/PAGE COPYランプが消灯し、パネルはページ「2」の状態に戻ります。
ARE YOU SURE ? NOボタンを押すと、バルクダンプは実行されず、マルチディスプレイはボイスナンバー表示に戻ります。

MIDIバルクダンプ受信



- ▶ もう1台のPSR-410や、データファイラーなどの外部機器からバルクダンプ（エクスクルーシブメッセージ）を受信すると、MIDI BULK DUMP/PAGEランプが点灯し、マルチディスプレイは「-S-」→「-n-」→「-r-」を表示します。受信が終了すると、MIDI BULK DUMP/PAGE COPYランプが消灯し、パネル設定は受信したデータに変更されます。（バルクダンプ受信終了後、データ処理の間は、マルチディスプレイに「-S-」、「-n-」、または「-r-」が表示されています。）

メモ

バルクダンプを途中で中止する場合は、バルクダンプ中にもう一度MIDI BULK DUMP/PAGE COPYボタンを押してください。

バルクダンプ送信中は、パネルの操作はできません。

バルクダンプ実行中のマルチディスプレイ表示は、以下のデータが送られていることを表します。

- 「-S-」 = ソングメモリーデータ
- 「-n-」 = マルチパッドデータ
- 「-r-」 = レジストレーションメモリーデータ

メモ

受信中はパネルの操作はできません。

!! 注意

バルクダンプを受信すると、現在選ばれているページのデータはすべて受信したデータに変更されます。現在のパネル設定を記憶させておきたい場合は、バルクダンプ受信の前に別のページに記憶させてください。

受信中にエラーが起こると、マルチディスプレイに「Err」が表示され、その時受信中のデータ（ソングメモリー、マルチパッド、レジストレーションメモリーのいずれか）のパネル設定が初期化されます。

録音中、オートアカンパニメント演奏中は、バルクダンプ受信は受け付けません。

最大同時発音数リスト

PSR-410の最大同時発音数は28音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、オートアカンパニメント、ソングメモリーなどを含めたすべての発音数の合計が28音ということです。したがって、オートアカンパニメントや録音・再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。28音以上になると、後着優先で発音します。

なお、PSR-410のボイスの中には、2音を使って作られているものがあります。これらは1音の発音が2音の発音に相当します。

各ボイスごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、そのボイスの使用する最大の同時発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の同時発音数となっているものもあります。)



リストにはMIDIプログラムナンバー(ボイスナンバー)を掲載しません。MIDIを使ってPSR-410のボイスを鳴らす場合は、このプログラムナンバーを使用してください。

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
Piano (ピアノ)			
01	0	Acoustic Grand Piano (グランドピアノ)	1
02	1	Bright Acoustic Piano (ブライトピアノ)	1
03	2	Electric Grand Piano (エレクトリックグランドピアノ)	2
04	3	Honky-tonk Piano (ホンキートンクピアノ)	2
05	4	Electric Piano 1 (エレクトリックピアノ1)	2
06	5	Electric Piano 2 (エレクトリックピアノ2)	2
07	6	Harpsichord (ハープシコード)	1
08	7	Clavi (クラビ)	1
Chromatic Percussion (クロマチックパーカッション)			
09	8	Celesta (チェレスタ)	1
10	9	Glockenspiel (グロッケンシュピール)	1
11	10	Music Box (ミュージックボックス)	2
12	11	Vibraphone (ビブラフォン)	1
13	12	Marimba (マリンバ)	1
14	13	Xylophone (シロフォン)	1
15	14	Tubular Bells (チューブラーベル)	1
16	15	Dulcimer (ダルシマー)	2
Organ (オルガン)			
17	16	Drawbar Organ (ドローパーオルガン)	2
18	17	Percussive Organ (パーカッシブオルガン)	2
19	18	Rock Organ (ロックオルガン)	2
20	19	Church Organ (チャーチオルガン)	2
21	20	Reed Organ (リードオルガン)	1
22	21	Accordion (アコーディオン)	2
23	22	Harmonica (ハーモニカ)	1
24	23	Tango Accordion (バンドネオン)	2
Guitar (ギター)			
25	24	Acoustic Guitar (nylon) (ガットギター)	1
26	25	Acoustic Guitar (steel) (フォークギター)	1
27	26	Electric Guitar (jazz) (ジャズギター)	1

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
28	27	Electric Guitar (clean) (エレクトリックギター)	2
29	28	Electric Guitar (muted) (ミュートギター)	1
30	29	Overdriven Guitar (オーバードライブギター)	1
31	30	Distortion Guitar (ディストーションギター)	1
32	31	Guitar Harmonics (ギターハーモニクス)	1
Bass (ベース)			
33	32	Acoustic Bass (アコースティックベース)	1
34	33	Electric Bass (finger) (エレクトリックベース)	1
35	34	Electric Bass (pick) (ピックベース)	1
36	35	Fretless Bass (フレットレスベース)	1
37	36	Slap Bass 1 (スラップベース1)	1
38	37	Slap Bass 2 (スラップベース2)	1
39	38	Synth Bass 1 (シンセベース1)	1
40	39	Synth Bass 2 (シンセベース2)	1
Strings (ストリングス)			
41	40	Violin (バイオリン)	1
42	41	Viola (ビオラ)	1
43	42	Cello (チェロ)	1
44	43	Contrabass (コントラバス)	1
45	44	Tremolo Strings (トレモロストリングス)	2
46	45	Pizzicato Strings (ピチカートストリングス)	2
47	46	Orchestral Harp (ハープ)	1
48	47	Timpani (ティンパニ)	1
Ensemble (アンサンブル)			
49	48	Strings Ensemble 1 (ストリングスアンサンブル1)	1
50	49	Strings Ensemble 2 (ストリングスアンサンブル2)	1
51	50	Synth Strings 1 (シンセストリングス1)	2
52	51	Synth Strings 2 (シンセストリングス2)	2
53	52	Choir Aahs (クワイア アー)	2
54	53	Voice Oohs (ボイス ウー)	1
55	54	Synth Voice (シンセボイス)	1
56	55	Orchestra Hit (オーケストラヒット)	1

ボイスナンバー46 : Pizzicato StringsのC#2以下、F5以上、110 : Bagpipe2のA#2以上の鍵域での使用発音数は、1音になります。

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
Brass (ブラス)			
57	56	Trumpet (トランペット)	1
58	57	Trombone (トロンボーン)	1
59	58	Tuba (チューバ)	1
60	59	Muted Trumpet (ミュートトランペット)	1
61	60	French Horn (フレンチホルン)	1
62	61	Brass Section (ブラスセクション)	1
63	62	Synth Brass 1 (シンセブラス1)	2
64	63	Synth Brass 2 (シンセブラス2)	2
Reed (リード)			
65	64	Soprano Sax (ソプラノサクソ)	1
66	65	Alto Sax (アルトサクソ)	1
67	66	Tenor Sax (テナーサクソ)	1
68	67	Baritone Sax (バリトンサクソ)	1
69	68	Oboe (オーボエ)	1
70	69	English Horn (イングリッシュホルン)	1
71	70	Bassoon (バスーン)	1
72	71	Clarinet (クラリネット)	1
Pipe (パイプ)			
73	72	Piccolo (ピッコロ)	1
74	73	Flute (フルート)	1
75	74	Recorder (リコーダー)	1
76	75	Pan Flute (パンフルート)	1
77	76	Blown Bottle (ボトル)	2
78	77	Shakuhachi (尺八)	1
79	78	Whistle (ホイッスル)	1
80	79	Ocarina (オカリナ)	1
Synth Lead (シンセリード)			
81	80	Lead 1 (square) (矩形波リード)	2
82	81	Lead 2 (sawtooth) (ノコギリ波リード)	2
83	82	Lead 3 (calliope) (カリオペリード)	2
84	83	Lead 4 (chiff) (チフリード)	2
85	84	Lead 5 (charang) (チャランリード)	2
86	85	Lead 6 (voice) (ボイスリード)	2
87	86	Lead 7 (fifth) (5度リード)	2
88	87	Lead 8 (bass+Lead) (ベース&リード)	2
Synth Pad (シンセパッド)			
89	88	Pad 1 (new age) (ニューエイジパッド)	2
90	89	Pad 2 (warm) (ウォームパッド)	2
91	90	Pad 3 (polysynth) (ポリシンセパッド)	2
92	91	Pad 4 (choir) (クワイアパッド)	2

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
93	92	Pad 5 (bowed) (ボウパッド)	2
94	93	Pad 6 (metallic) (メタリックパッド)	2
95	94	Pad 7 (halo) (ヘイロパッド)	2
96	95	Pad 8 (sweep) (スイープパッド)	2
Synth Effects (シンセエフェクト)			
97	96	FX 1 (rain) (雨)	2
98	97	FX 2 (soundtrack) (サウンドトラック)	2
99	98	FX 3 (crystal) (クリスタル)	2
100	99	FX 4 (atmosphere) (アトモスフィア)	2
101	100	FX 5 (brightness) (ブライトネス)	2
102	101	FX 6 (goblins) (ゴブリン)	2
103	102	FX 7 (echoes) (エコー)	2
104	103	FX 8 (sci-fi) (SF)	2
Ethnic (エスニック)			
105	104	Sitar (シタール)	1
106	105	Banjo (バンジョー)	1
107	106	Shamisen (三味線)	1
108	107	Koto (琴)	1
109	108	Kalimba (カリンバ)	1
110	109	Bagpipe (バグパイプ)	2
111	110	Fiddle (フィドル)	1
112	111	Shanai (シャナイ)	1
Percussive (パーカッシブ)			
113	112	Tinkle Bell (ティンクルベル)	2
114	113	Agogo (アゴゴ)	1
115	114	Steel Drums (スチールドラム)	2
116	115	Woodblock (ウッドブロック)	1
117	116	Taiko Drum (和太鼓)	1
118	117	Melodic Tom (メロディックタム)	1
119	118	Synth Drum (シンセドラム)	1
120	119	Reverse Cymbal (リバースシンバル)	1
Sound Effects (サウンドエフェクト)			
121	120	Guitar Fret Noise (フレットノイズ)	1
122	121	Breath Noise (ブレスノイズ)	1
123	122	Seashore (海辺)	2
124	123	Bird Tweet (鳥のさえずり)	2
125	124	Telephone Ring (電話のベル)	1
126	125	Helicopter (ヘリコプター)	2
127	126	Applause (拍手)	2
128	127	Gunshot (銃声)	1

スタイルリスト

No.	ネーム	リズム	コメント
Pop (ポップ)			
01	16BEAT POP (16ビートポップ)	16ビート	オーソドックスな16ビート。ポップな曲にぴったりです。
02	8BEAT POP (8ビートポップ)	8ビート	ギターやピアノのバックイングが元気な70年代ポップス。
03	8BEAT LIGHT (8ビートライト)	8ビート	ピアノのアルペジオをフィーチャーした8ビート。ピアノのイージーリスニング曲にどうぞ。
04	FOLKROCK (フォークロック)	16ビート	フォークギターを使ったライト感覚のフォークロック。
05	POP SHUFFLE (ポップシャッフル)	12ビート	70年代ヨーロピアン/アメリカンポップシャッフル。
06	POP ROCK (ポップロック)	12ビート	カントリー風のポップロック。アップテンポの曲にお薦めです。
Pop Ballad (ポップバラード)			
07	16BT BALLAD (16ビートバラード)	16ビート	ロマンチックな16ビートバラード。ソフトな曲なら、ロックでも歌謡曲でもOKです。
08	POP BALLAD (ポップバラード)	8ビート	スケールの大きなボーカルもののバラードにお薦めです。
09	PNO BALLAD (ピアノバラード)	8ビート	ピアノのアルペジオや8ビートのバックイングを使ったオーソドックスなバラード。
10	6/8 BALLAD (6/8バラード)	6/8	スローロックバラード。3連系のバラードにはもちろん、演歌にもお薦めです。
Dance (ダンス)			
11	RAVE (レイブ)	16ビート	最新のテクノハウスミュージック。
12	EUROBEAT (ユーロビート)	16ビート	正統派ユーロビート。80年代ディスコから、ハウスミュージックまで使えます。
13	DANCE POP (ダンスポップ)	16ビート	懐かしさあふれる80年代のディスコサウンド。
14	CASA (カーサ)	16ビート	イタリアンハウスミュージック。
15	RAP (ラップ)	16ビート	スクラッチやいろいろな効果音の入った、流行のラップ。
16	DANCE SHFL (ダンスシャッフル)	24ビート	ラップやディスコなどの1コードソング。Rhythmic Chord1/2をオフにして試してみましょう。
17	GROUNDBEAT (グラウンドビート)	24ビート	ソウル系のバラード。スローテンポのダンスミュージックにぴったりです。
18	SY BOOGIE (シンセブギ)	6/8	コンピューターミュージックの先駆 70年代のヨーロパ系プログレ風のサウンドです。
Disco (ディスコ)			
19	DISCO PARTY (ディスコパーティー)	16ビート	ヨーロッパで人気のある、派手めのプラスが印象的なビッグバンド風ディスコ。
20	DISCO SOUL (ディスコソウル)	16ビート	ソウルベースの、70年代フィラデルフィアサウンド風ディスコ。
21	DISCO POP (ディスコポップ)	16ビート	70年代に一世を風靡したライトなスウェディッシュディスコ。
22	POLKA POP (ポルカポップ)	8ビート	ポルカ調のモダンなポップ。Rhythm2のラテンパーカッションが楽しさを一層引き立てます。
Rhythm & Blues (リズム&ブルース)			
23	R&B (リズム&ブルース)	8ビート	60年代の典型的なリズム&ブルース。
24	R&B BALLAD (リズム&ブルースバラード)	16ビート	ブラックミュージックのバラード全般にお薦めのソウルバラード。
25	6/8 BLUES (6/8ブルース)	6/8	50年代のニューオリンズリズム&ブルース。6/8のリズムはオールディーズにもぴったりです。
26	BLUES (ブルースシャッフル)	12ビート	シカゴ風のシャッフル系ブルース。
27	SOUL (ソウル)	8ビート	メンフィスリズム&ブルース。ミドルテンポの曲にどうぞ。
28	FUNK (ファンク)	16ビート	イーストベイファンク。パンチのきいたプラスを使ったグルーブ感のあるファンクです。
29	FUNK SHFL (ファンクシャッフル)	24ビート	ギターのリフがかっこいいシャッフル系のファンク。
Rock (ロック)			
30	HARD ROCK (ハードロック)	8ビート	70年代の典型的アメリカンハードロック。コードチェンジ毎にクラッシュシンバルが爆発します。
31	RK BOOGIE (ロックブギ)	12ビート	ディストーションギターがかっこいい、ハードなブギをベースにした70年代ロックです。
32	ROCK POP (ロックポップ)	8ビート	ギターがメインの、懐かしい160~70年代ミドルテンポロック。
33	RK SHUFFLE (ロックシャッフル)	12ビート	シャッフル系ポップロック。トラックごとにオン/オフし、いろんなアレンジを試してください。
34	6/8 ROCK (6/8ロック)	6/8	「朝日のあたる家」風のアルペジオが印象的なロック。60年代アメリカンフォークにどうぞ。
35	RK BALLAD (ロックバラード)	8ビート	イントロ/エンディングに泣かせるギターの入った、典型的なロックバラード。
Rock & Roll (ロックンロール)			
36	ROCK&ROLL (ロックンロール)	12ビート	60年代のロックンロール。これぞ元祖ロックンロールサウンドです。
37	BOOGIE (ブギウギ)	12ビート	50年代を代表するブギウギ。Phraseでプラス、Padでファンキーなピアノを演奏します。
38	TWIST (ツイスト)	8ビート	雰囲気のあるハンドクラップやドラムのパターンが印象的なツイストです。
39	ROCKABILLY (ロカビリー)	12ビート	ハイチューニングのスネアドラムが特徴的な、これぞメンフィスロカビリー。

No.	ネーム	リズム	コメント
Traditional Jazz (トラディショナルジャズ)			
40	DIXIELAND (デキシーランド)	12ビート	ニューオーリンズのベーシックなデキシーランド。「聖者の行進」など、ぴったりはまります。
41	BIG BAND (ビッグバンド)	12ビート	大編成のビッグバンド。各トラックにジャズインストルメントが入っています。
42	SWING (スイング)	12ビート	ヨーロッパビッグバンド。ミドルテンポのスイングにぴったりです。
43	FOXTROT (フォックストロット)	12ビート	社交ダンスのフォックストロットスタイル。
44	SWING WALTZ (スイングワルツ)	9/8	オーケストラ風のスイングしたワルツ。ジャズ以外の曲にも使えます。
Contemporary Jazz (コンテンポラリージャズ)			
45	BEBOP (ビバップ)	12ビート	40年代のニューヨークビバップ。ジャズピアノトリオのアップテンポな曲にお薦めです。
46	JAZZ BALLAD (ジャズバラード)	12ビート	コンボスタイルのジャズバラード。ピアノを演奏する時は、Phrase1 / 2をオフにしてください。
47	JAZZ WALTZ (ジャズワルツ)	9/8	アップテンポのジャズワルツ。Phrase1のパイプがジャージーな雰囲気を出しています。
48	FUSION (フュージョン)	16ビート	ラテンの味付けをしたライト感覚のフュージョン。
49	FUSION SHFL (フュージョンシャッフル)	24ビート	A.O.R.風のソフトなボーカルに合うシャッフル。味のあるチョッパーベースが魅力的です。
Latin (ラテン)			
50	MAMBO (マンボ)	8ビート	ピアノやブラスが中心の元気の出るマンボ。メロディをピアノで弾くときは、Chord2をオフに。
51	MERENGUE (メレンゲ)	8ビート	中南米の異国情緒たっぷりの、郷愁を誘うメレンゲ。
52	BEGUINE (ビギン)	8ビート	映画のヒットによって有名になったルンバのバリエーションの1つ。
53	TANGO ARGN (タンゴアルゼンチーナ)	8ビート	コンサバティブなダンスの世界にぴったりのタンゴ。
54	CHA CHA (チャチャ)	8ビート	ダンス用のチャチャ。最初は、Rhythm2、Bass、Chordだけでスタートしてみましょう。
55	SAMBA (サンバ)	16ビート	ダンス系のサンバですが、ラテン系の曲ならいろいろと使えるスグレモノ。
56	BOMBA (ボンバ)	16ビート	さわやかなカリブの潮風が感じられるプエルトリコのダンスミュージック。
Latin Pop (ラテンポップ)			
57	POP BOSSA (ポップボサ)	8ビート	ポップでライトな感覚のボサノバ。
58	JAZZ SAMBA (ジャズサンバ)	16ビート	ドラムスがあったトラディショナルなブラジルのサンバ。
59	LATIN ROCK (ラテンロック)	16ビート	エレクトリックベースとドラムスを加え、コンテンポラリーに味付けをしたチャチャ。
Caribbean (カリビアン)			
60	REGGAE 16 (レゲエ16)	16ビート	「ラバズロック」と呼ばれるバラード的なレゲエのスタイルです。
61	REGGAE 12 (レゲエ12)	12ビート	レゲエのオーソドックスなスタイル。シャッフルしたノリがポイントです。
Country & Western (カントリー&ウェスタン)			
62	BLUEGRASS (ブルーグラス)	16ビート	バンジョーがさまになるブルーグラス。最初は、Rhythm1とChord1だけで始めてみましょう。
63	C POP (カントリーポップ)	8ビート	コンテンポラリーっぽいカントリー。
64	C ROCK (カントリーロック)	8ビート	カントリーテイストを取り入れた、70年代のウェストコーストロックにぴったりです。
65	C BALLAD (カントリーバラード)	8ビート	スチールギターが効果的なスローテンポのカントリー。
66	C WALTZ (カントリーワルツ)	9/8	アコースティックギターが魅力的な、オーセンティックカントリー。
67	C SHUFFLE (カントリーシャッフル)	12ビート	アコースティックギターの典型的カントリー。カントリーならなんでも来いという万能スタイル。
68	W SHUFFLE (ウェスタンシャッフル)	12ビート	モダンで軽妙なタッチのカントリー。
World Music (ワールドミュージック)			
69	POLKA (ポルカ)	8ビート	アルプスのホルンの響きが聴こえてきそうな伝統的ポルカ。
70	TRAD WALTZ (トラディショナルワルツ)	3/4	オーソドックスなヨーロッパワルツ。Chord1 / 2とPhrase1だけで試してみるのも一興です。
71	SLOW WALTZ (スローワルツ)	3/4	小編成のイングリッシュワルツスタイル。スローテンポなのでバラード系のワルツにも合います。
72	VIEN WALTZ (ウイナワルツ)	3/4	ダンス向きのワルツ。Chord2のアコーディオンやPhrase2のクラリネットを消すとシンプルに。
73	SEVILLIANAS (セビリャーナ)	3/4	フラメンコにも使えるテンポの速いワルツ。
74	BOLEROLENTO (ボレロレント)	8ビート	ギター中心のロマンティックなスタイル。ルンバのスローバージョンとしても使えます。
75	ESPAÑOLE (ルンバエスパニョール)	16ビート	賑やかでつい踊りだしたくなってしまふ、スパニッシュギターベースのルンバ。
76	DANGDUT (ダンダット)	8ビート	エスニックな響きのインドネシアンポップスタイル。
77	ENKA (演歌)	8ビート	浪花節調の正統派演歌。
March (マーチ)			
78	MARCH (マーチ)	8ビート	伝統的なブラスバンド。各トラックにバンドで馴染深い楽器が入っています。
79	6/8 MARCH (6/8マーチ)	6/8	勇壮なマーチングバンド。イントロの間にコード変更すると、ブラスの味付けが加わります。
80	TARANTELLA (タランテラ)	6/8	南イタリアのダンスのスタイル。「フニクリ・フニクラ」が聞こえてきそうです。

パーカッションキットリスト (キーボードパーカッション)

<— は「1:スタンダードキット」と同じ内容であることを表します。
 キーボードパーカッションがオンの時の同時発音数は1です。
 パーカッションキット () はMIDIプログラムナンバーです。

MIDIのNote#とNoteは、この表記よりも1オクターブ下になります。たとえ
 ば、Percussion Kit number 1: Standardの「クリック(スクエアウェーブ)」
 (Note# 36/Note C1) は、(MIDI Note# 24/Note C0) に対応します。

Note#	Note	1: Standard (0)	2: Room (8)	3: Rock (16)	4: Electronic (24)
36	C1	クリック(スクエアウェーブ)	<—	<—	<—
37	C#1	ブラッシュ タップ	<—	<—	<—
38	D1	ブラッシュ スワール	<—	<—	<—
39	D#1	ブラッシュ スラップ	<—	<—	<—
40	E1	ブラッシュスワールウィズアタック	<—	<—	リバース シンバル
41	F1	スネア ロー	<—	<—	<—
42	F#1	カスタネット	<—	<—	ハイキュー
43	G1	スネア ハイ ソフト	スネア ルーム ロー	スネア ロック ロー	スネア ゲート ロー
44	G#1	スティックス	<—	<—	<—
45	A1	バスドラム ハイ ソフト	バスドラム ルーム ロー	バスドラム ロック ロー	バスドラム ゲート ロー
46	A#1	オープン リムショット	<—	<—	<—
47	B1	バスドラム ロー	バスドラム ルーム ミッド	バスドラム ロック ミッド	バスドラム ゲート ミッド
48	C2	バスドラム ハイ ハード	バスドラム ルーム ハイ	バスドラム ロック ハイ	バスドラム ゲート ハイ
49	C#2	クローズ リムショット	<—	<—	<—
50	D2	スネア ロー	スネア ルーム ミッド	スネア ロック ミッド	スネア ゲート ミッド
51	D#2	ハンドクラップ	<—	<—	<—
52	E2	スネア ハイ ハード	スネア ルーム ハイ	スネア ロック ハイ	スネア ゲート ハイ
53	F2	フロアタム ロー	ルーム タム1	ロック タム1	エレクトロニック タム1
54	F#2	ハイハット クローズ	<—	<—	<—
55	G2	フロアタム ハイ	ルーム タム2	ロック タム2	エレクトロニック タム2
56	G#2	ハイハットベダル	<—	<—	<—
57	A2	ロータム	ルーム タム3	ロック タム3	エレクトロニック タム3
58	A#2	ハイハット オープン	<—	<—	<—
59	B2	ミッド タム ロー	ルーム タム4	ロック タム4	エレクトロニック タム4
60	C3	ミッド タム ハイ	ルーム タム5	ロック タム5	エレクトロニック タム5
61	C#3	クラッシュシンバル1	<—	<—	<—
62	D3	ハイタム	ルーム タム6	ロック タム6	エレクトロニック タム6
63	D#3	ライドシンバル1	<—	<—	<—
64	E3	チャイニーズシンバル	<—	<—	<—
65	F3	ライドシンバル カップ	<—	<—	<—
66	F#3	タンバリン	<—	<—	<—
67	G3	スブラッシュ シンバル	<—	<—	<—
68	G#3	カウベル	<—	<—	<—
69	A3	クラッシュ シンバル2	<—	<—	<—
70	A#3	ビブラスラップ	<—	<—	<—
71	B3	ライドシンバル2	<—	<—	<—
72	C4	ボンゴ ハイ	<—	<—	<—
73	C#4	ボンゴ ロー	<—	<—	<—
74	D4	コンガ ハイ ミュート	<—	<—	<—
75	D#4	コンガ ハイ オープン	<—	<—	<—
76	E4	コンガ ロー	<—	<—	<—
77	F4	ティンパレス ハイ	<—	<—	<—
78	F#4	ティンパレス ロー	<—	<—	<—
79	G4	アゴゴ ハイ	<—	<—	<—
80	G#4	アゴゴ ロー	<—	<—	<—
81	A4	カバサ	<—	<—	<—
82	A#4	マラカス	<—	<—	<—
83	B4	サンバホイッスル ハイ	<—	<—	<—
84	C5	サンバホイッスル ロー	<—	<—	<—
85	C#5	ギロ ショート	<—	<—	<—
86	D5	ギロ ロング	<—	<—	<—
87	D#5	クラベス	<—	<—	<—
88	E5	ウッドブロック ハイ	<—	<—	<—
89	F5	ウッドブロック ロー	<—	<—	<—
90	F#5	クイーカ ミュート	<—	<—	スクラッチ ハイ
91	G5	クイーカ オープン	<—	<—	スクラッチ ロー
92	G#5	トライアングル ミュート	<—	<—	<—
93	A5	トライアングル オープン	<—	<—	<—
94	A#5	シェイカー	<—	<—	<—
95	B5	ジングルベル	<—	<—	<—
96	C6	ベルツリー	<—	<—	<—
97	C#6	声「ワン」	<—	<—	<—
98	D6	声「ツー」	<—	<—	<—
99	D#6	声「スリー」	<—	<—	<—
100	E6	声「フォー」	<—	<—	<—
101	F6	声「アーユーシュア？」	<—	<—	<—

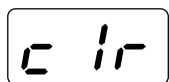
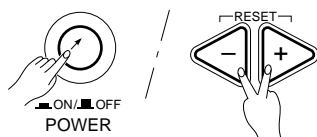
Note#	Note	5: Analog (25)	6: Jazz (32)	7: Brush (40)	8: Classic (48)
36	C1	<—	<—	<—	<—
37	C#1	<—	<—	<—	<—
38	D1	<—	<—	<—	<—
39	D#1	<—	<—	<—	<—
40	E1	リバース シンバル	<—	<—	<—
41	F1	<—	<—	<—	<—
42	F#1	ハイキュー	<—	<—	<—
43	G1	スネア アナログ ロー	<—	ブラッシュ スラップ ロー	スネア クラシック ロー
44	G#1	<—	<—	<—	<—
45	A1	バスドラム アナログ ロー	<—	<—	グランカーサ ロー
46	A#1	<—	<—	<—	<—
47	B1	バスドラム アナログ ミッド	<—	<—	グランカーサ ミッド
48	C2	バスドラム アナログ ハイ	<—	<—	グランカーサ ハイ
49	C#2	クローズリムショットアナログ	<—	<—	<—
50	D2	スネア アナログ ミッド	<—	ブラッシュ スラップ ハイ	スネア クラシック ミッド
51	D#2	<—	<—	<—	<—
52	E2	スネア アナログ ハイ	<—	ブラッシュ タップ	スネア クラシック ハイ
53	F2	アナログ タム1	ナチュラル タム1	ブラッシュ タム1	ナチュラル タム1
54	F#2	アナログ ハイハットクローズ1	ダーク ハイハットクローズ	ダーク ハイハットクローズ	ダーク ハイハットクローズ
55	G2	アナログ タム2	ナチュラル タム2	ブラッシュ タム2	ナチュラル タム2
56	G#2	アナログ ハイハットクローズ2	ダーク ハイハットペダル	ダーク ハイハットペダル	ダーク ハイハットペダル
57	A2	アナログ タム3	ナチュラル タム3	ブラッシュ タム3	ナチュラル タム3
58	A#2	アナログ ハイハットオープン	ダーク ハイハットオープン	ダーク ハイハットオープン	ダーク ハイハットオープン
59	B2	アナログ タム4	ナチュラル タム4	ブラッシュ タム4	ナチュラル タム4
60	C3	アナログ タム5	ナチュラル タム5	ブラッシュ タム5	ナチュラル タム5
61	C#3	<—	<—	<—	ハンドシンバル ロング ロー
62	D3	アナログ タム6	ナチュラル タム6	ブラッシュ タム6	ナチュラル タム6
63	D#3	<—	<—	<—	ハンドシンバル ショート ロー
64	E3	<—	<—	<—	<—
65	F3	<—	<—	<—	<—
66	F#3	<—	<—	<—	<—
67	G3	<—	<—	<—	<—
68	G#3	<—	<—	<—	<—
69	A3	<—	<—	<—	ハンドシンバル ロング ハイ
70	A#3	<—	<—	<—	<—
71	B3	<—	<—	<—	ハンドシンバル ショート ハイ
72	C4	<—	<—	<—	<—
73	C#4	<—	<—	<—	<—
74	D4	<—	<—	<—	<—
75	D#4	<—	<—	<—	<—
76	E4	<—	<—	<—	<—
77	F4	<—	<—	<—	<—
78	F#4	<—	<—	<—	<—
79	G4	<—	<—	<—	<—
80	G#4	<—	<—	<—	<—
81	A4	<—	<—	<—	<—
82	A#4	<—	<—	<—	<—
83	B4	<—	<—	<—	<—
84	C5	<—	<—	<—	<—
85	C#5	<—	<—	<—	<—
86	D5	<—	<—	<—	<—
87	D#5	<—	<—	<—	<—
88	E5	<—	<—	<—	<—
89	F5	<—	<—	<—	<—
90	F#5	スクラッチ ハイ	<—	<—	<—
91	G5	スクラッチ ロー	<—	<—	<—
92	G#5	<—	<—	<—	<—
93	A5	<—	<—	<—	<—
94	A#5	<—	<—	<—	<—
95	B5	<—	<—	<—	<—
96	C6	<—	<—	<—	<—
97	C#6	<—	<—	<—	<—
98	D6	<—	<—	<—	<—
99	D#6	<—	<—	<—	<—
100	E6	<—	<—	<—	<—
101	F6	<—	<—	<—	<—

初期化の方法 / PSR-410ページメモリー初期設定一覧

PSR-410のパネル上の設定（各ページメモリーの内容等）はPOWER ON/OFFスイッチをオフにしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

PSR-410を初期設定（工場出荷時の状態）に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。

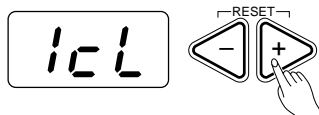
ページメモリーの全ページ、及びその他すべてのパネルデータの初期化（システムリセット）



- 1 POWER ON/OFFスイッチを押して電源を切ります。
- 2 ナンバー選択ボタン [+] [-] を同時に押しながら、POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れます。マルチディスプレイに「clr」が表示され、初期化が実行されます。

!! 注意

初期化を実行するとPSR-410のすべてのデータが初期設定の状態に書き換えられ、元のデータは失われます。



ページメモリーのページ単位の初期化

- ▶ P.39のページコピーの操作でコピー先のページナンバーに「cL」を選択してYESボタンを押すと、そのページの内容は初期化されます。

なお、この時このページに記憶されていたパネル内容は失われます。

[PSR-410ページメモリー初期設定一覧]

		ORCHESTRATION		VOICE					AUTO ACCOMPANIMENT		OVERALL CONTROL					MULTI PADS	
		On/Off	VOICE No.	VOL	PAN	OCTAVE	HARMONY		STYLE No.	VOL	TEMPO	SPLIT POINT		P.B. Range	TOUCH On/Off	1/2/3/4	
							On/Off	TYPE				Split mode	Accomp.				
PAGE1	REGIST1	R1	○	01	21	0	0	Off	01	20	21	120	61	55	2	On	preset x4
		R2	×	52	21	0	0										
		L1	×	33	21	0	-1										
		L2	×	06	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST2	R1	○	06	21	0	0	Off	01	17	21	94	63	55	2	On	
		R2	○	53	21	0	-1										
		L1	○	37	21	0	-1										
		L2	×	35	21	0	-1										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST3	R1	○	19	21	0	0	Off	01	61	21	82	61	55	2	On	
		R2	○	18	21	0	-1										
		L1	○	35	21	0	-1										
		L2	×	33	21	0	-1										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST4	R1	○	57	21	2	0	Off	04	79	21	126	61	55	2	On	
R2		○	89	21	-2	-1											
L1		○	51	21	2	0											
L2		○	48	21	-2	-1											
PERCUSS.	Off	1	21	0	-1												
PAGE2	REGIST1	R1	○	63	21	3	-1	Off	01	14	21	120	61	55	2	On	preset x4
		R2	○	96	21	-3	-1										
		L1	○	88	21	0	-1										
		L2	○	64	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST2	R1	○	30	21	0	0	Off	01	30	21	180	61	55	2	On	
		R2	○	85	21	0	0										
		L1	×	86	21	0	1										
		L2	○	102	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST3	R1	○	83	21	0	0	Off	01	9	21	78	61	55	2	On	
		R2	○	123	21	0	0										
		L1	○	26	21	0	0										
		L2	○	89	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST4	R1	○	13	21	-3	-1	Off	01	55	21	108	61	55	2	On	
R2		○	115	21	3	0											
L1		×	12	21	0	1											
L2		○	33	21	0	-1											
PERCUSS.	Off	1	21	0	1												
PAGE3	REGIST1	R1	○	23	21	0	0	Off	01	64	21	130	61	55	2	On	preset x4
		R2	×	106	21	0	-1										
		L1	○	26	21	0	0										
		L2	×	04	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST2	R1	○	62	21	3	-1	Off	01	41	21	155	61	55	2	On	
		R2	○	67	21	-3	-1										
		L1	○	33	21	0	-1										
		L2	×	01	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST3	R1	○	25	21	2	-1	Off	01	74	21	102	61	55	2	On	
		R2	○	53	10	-2	-1										
		L1	○	25	21	-2	-1										
		L2	○	52	14	2	-1										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST4	R1	○	06	21	3	0	Off	01	16	21	112	69	55	2	On	
R2		○	05	21	2	0											
L1		○	06	21	-3	0											
L2		○	51	13	0	0											
PERCUSS.	Off	1	21	0	-1												
PAGE4	REGIST1	R1	○	20	21	4	0	Off	01	35	21	70	69	55	2	On	preset x4
		R2	○	53	21	-4	-1										
		L1	×	21	21	0	0										
		L2	×	54	21	0	1										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST2	R1	○	04	21	1	0	Off	01	40	21	180	69	55	2	On	
		R2	×	01	21	1	0										
		L1	×	02	21	0	0										
		L2	×	03	21	0	0										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST3	R1	○	62	21	3	0	Off	02	70	21	180	61	55	2	On	
		R2	○	57	21	-2	0										
		L1	○	48	21	-2	-1										
		L2	○	59	21	2	-1										
	PERCUSS.	Off	1	21	0	-1											
	REGIST4	R1	○	54	21	4	0	Off	02	21	21	102	61	55	2	On	
R2		○	92	10	1	-1											
L1		○	53	21	-4	0											
L2		○	92	10	0	-1											
PERCUSS.	Off	1	21	0	-1												

ソングメモリーは初期設定でデータを持っていませんので、リセットの操作で、ソングメモリー内のデータは削除されます。
オーケストレーションのEDITランプは、初期設定でR1が点灯します。

MIDIインプリメンテーションチャート

[ポータブルキーボード]

Date: 1993. 6.15

Model PSR-410

MIDI インプリメンテーションチャート

Version: 1.00

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 ~ 16 CH 1 ~ 16 CH	1 ~ 16 CH (1) 1 ~ 16 CH (1)	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****	(1) × ×	
ノート ナンバー	音域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	9nH, v=1 ~ 127 × 9nH, v=0	9nH, v=1 ~ 127 × 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× (2)	
ピッチベンダー				
コントロール	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64 66 84 90 91 96 97 100, 101 120 121	(3) × × × (6) ×	(4) (5) (7) (8)	バンク・セレクト MSB, LSB モジュレーション・デプス データ・エントリー MSB, LSB ボリューム パン エクスプレッション サステイン ソステヌート ポルタメント・コントロール リバーブセンドレベル RPN・データ・インクリメント RPN・データ・デクリメント RPN LSB, MSB オールサウンド・オフ リセット・オール・コントローラー
プログラム チェンジ	設定可能範囲	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127 (9)	
エクスクルーシブ				
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル	クロック コマンド	(12)	(11) (12)	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× ×	× ×	

モード 1: オムニ・オン、ポリ
モード 3: オムニ・オフ、ポリ

モード 2: オムニ・オン、モノ
モード 4: オムニ・オフ、モノ

:あり
×:なし

1. チャンネル毎にパネル設定により以下のモード指定が可能です。
 モード 00 : 受信しない。
 モード 01 : 音源に直接入力されます。
 モード 02 : 鍵盤をオン / オフした場合と同様に扱われます。
 モード 03 : オートアカンパニメントのコード指定押鍵と同様に扱われます。
 モード 04 : オートアカンパニメント分数コードの最低音 (ベース) 指定押鍵と同様に扱われます。
2. チャンネルプレッシャーはピブラートとして扱います。
3. バンクセレクトの送信では、MSBのみが変化し、LSBは常に00Hで固定で出力されます。
4. バンクセレクト受信
 バンクセレクトMSBはメロディ音色、リズム音色の切り替えに用いられます。
 バンクセレクトLSBは無視されます。
 MSB 00H: GMメロディ音色
 MSB 7FH: GMリズム音色
 10チャンネル以外のチャンネルの初期設定は00Hです。10チャンネルは通常リズム音色で、バンクセレクトは無効です。ただし、C1の鍵盤を押しながら電源を入れた場合は、他のチャンネル同様バンクセレクトが有効となります。バンクセレクトMSBが01H~7EHの時は、以後そのチャンネルではキーオンが来ても無発音となります。バンクセレクトを受信しただけでは、音色変更は起こりません。プログラムチェンジを受信した際にその最新の値が適用されます。
5. ポルタメントコントロールは、受信モードがマルチに設定されているチャンネルのみで有効です。
6. パネル上のピッチバンドレンジ設定に応じて、ピッチバンドセンシティビティを送信します。
 ピッチバンドセンシティビティ : BnH, 64H, 00H, 65H, 00H
7. RPNは下記のデータを受信します。
 ピッチバンド・センシティビティ: BnH, 64H, 00H, 65H, 00H
 初期設定値は02H, 00H
 BnH, 64H, 01H, 65H, 00H
 初期設定値は40H, 00H
 コース・チューニング: BnH, 64H, 02H, 65H, 00H
 初期設定値は40H, 00H
 ヌル: BnH, 64H, 7FH, 65H, 7FH
8. リセットオールコントローラー
 ピッチバンド、チャンネルプレッシャー、モジュレーション、エクスプレッション、サステイン、ソステヌートの各データを初期設定値に戻します。RPNの設定をヌルにします。ポルタメントコントロールの設定をリセットします。
9. GMメロディ音色の場合
 ・・・・0~127がパネルの音色1~128になります。
 リズム音色の場合
 ・・・・0, 8, 16, 24, 25, 32, 40, 48, がパネルの音色1~8になります。

10. エクスクルーシブ

<GM1システムオン> F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 MIDIマスターチューニングを除く全てのデータの設定値を初期設定値に戻します。

<MIDIマスターボリューム> F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, ll, mm, F7H
 全チャンネルの音量を一度に変えられるメッセージ (ユニバーサルシステムエクスクルーシブ) です。

mmの値をMIDIマスターボリューム値として用います (llの値は無視されます)。mmの初期設定値は 7FHです。本メッセージは受信のみで送信はしません。

<MIDIマスターチューニング>

F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mm, ll, cc, F7H

全チャンネルの音量を一度に変えられるメッセージです。(パネルのチューニング)

・mmllの値をMIDIマスターチューニング値として用い、実際のチューニング値は次式で表わされます。

$$T=M \times 200/256 - 100$$

ここで T: 実際のチューニング値 (セント)

M: mmの0~3ビットをMSB、llの0~3ビットをLSBとする1バイトの10進値

mmllの初期設定値は 07H, 0FHです。またnおよびccの値は任意です。この値はGM1システムオンでもリセットオールコントローラーでも初期化されません。本メッセージは送信、受信します。

<バルクダンプ>

bl, bhは<DATA>の総バイト数で、bl+bh*128となります。

cs : チェックサム

マルチパッド F0H, 43H, 76H, 12H, bl, bh, <DATA>, cs, F7H

ソングメモリー F0H, 43H, 76H, 16H, bl, bh, <DATA>, cs, F7H

レジストレーションメモリー F0H, 43H, 76H, 14H, bl, bh, <DATA>, cs, F7H

<パネルコントロール>

デュアルデータチェンジ F0H, 43H, 76H, 17H, 04H, <DATA>, F7H

デュアルオン / オフ F0H, 43H, 76H, 17H, 05H, <DATA>, F7H

ハーモニー F0H, 43H, 76H, 17H, 0EH, <DATA>, F7H

コード / ベース F0H, 43H, 76H, 17H, 0BH, <DATA>, F7H

11. 内部クロック / 外部クロック指定可能。

12. スタート / ストップコマンドを受信した場合の動作は、パネル設定 (受信チャンネル / クロック / コマンド) のコマンドにより決定されます。

0. スタート / ストップコマンドを無視します。

1. オートアカンパニメントがスタート / ストップします。

2. ソングメモリーがスタート / ストップします。

コンティニューは送信も受信もしません。

GM システムレベル1 について

現在さまざまな楽器に普及しているMIDIは、メーカーや機種が違って演奏やその他の各種情報を伝達できる規格です。これにより、例えばA社の音源用に作成したデータを使ってB社の音源を演奏できます。ただし、メーカーや機種によって音色配列やコントローラーの使い方が異なるため、データに互換性がありません。そこでシンセサイザーやトーンジェネレーター の音色配列やコントローラーの使い方に一定の基準を設け、メーカーや機種が異なってもほぼ同じ音色で演奏できるようにしたものが、GMシステムレベル1という規格です。PSR-410の音色配列は「GMシステムレベル1」に準拠しています。

故障かなと思ったら・・・

現象	原因	解決方法
POWER ON/OFFボタンを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 突然マルチディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。 デモ曲や、ソングメモリーなどの録音内容が正しく演奏（再生）されない。 	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池と交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-410の最大同時発音数は28です。オートアカンパニメントやソングメモリーなども含めて最大28音の範囲で鳴らすことができます。
オートアカンパニメントの演奏中、押鍵コードを変えても演奏される伴奏が変わらない。	フィンガリングのモードに合ったコードの押さえ方をしていません。	フィンガリングモードによって、それぞれコードの押鍵方法が異なります。コードを確認して正しく押さえてください。
鍵盤を押さえても、設定した音色が鳴らない。	オーケストレーションのパートがオンになっていません。	P.11の「オーケストレーション」の項を参照して、必要なオーケストレーションのパートをオンにしてください。
	オーケストレーションパートのボイスボリュームが下がっています。	P.13の「ボリューム」の項を参照して、ボイスボリュームを上げてください。
ボイスボリュームやオクターブが、指定したパートに設定できない。	指定したパートのオーケストレーションがエディット状態になっていません。	ボイスボリュームやオクターブなどは、オーケストレーションでエディット中（EDITランプが点灯）のボイスに対して設定できます。
リズムをスタートしても音が鳴らない。	スタイルのセクションによっては、リズムトラック以外で構成されているものがあります。	オートアカンパニメントをオンにし、フィンガリングモードに従ってコードを押さえてください。オートアカンパニメントが演奏されます。
サステインペダル（フットスイッチ）のオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたり、サステインペダル端子にプラグを接続したりしたからです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
ソングメモリーデータをクリアしても、クリアしたトラックのランプが消えない。	曲の途中からクリアしたため、そのトラックにデータが残っています。	小節ナンバーを001にセットし、もう一度クリアしてください。
外部シーケンサーなどから、ソングメモリー、マルチパッド、レジストレーションメモリーのデータをひとつひとつPSR-410へバルクダンプ送信しても、PSR-410でうまく受信できない。	データの送信間隔を調整する必要があります。	ソングメモリー、マルチパッド、レジストレーションメモリーのひとつひとつのデータを、継続して（2秒未満の間隔）送信するか、完全にひとつひとつのデータの間隔をあけて（PSR-410でバルクダンプ受信が終了し、マルチディスプレイがボイスナンバーの表示に戻ってから）送信してください。

インデックス

ア

アカンパニメントコントロール	23
アカンブトラック	30
アカンブボリューム	25
ARE YOU SURE? (アーユージュア?)	36, 38, 39, 43

イ

イントロ	23, 24
------	--------

エ

エディット(オーケストレーション)	12
エンディング	24, 25

オ

オーケストレーション	11
オートアカンパニメント	18
オートアカンパニメントトラック	20
オクターブ	13
オプション商品	56

キ

機能ボタン	8
キーボードパーカッション	10

ク

クリア	36
クロック	41

コ

故障かなと思ったら	54
コード1(フィンガリング)	21
コード2(フィンガリング)	22

サ

再生(ソングメモリー)	32
再生(マルチパッド)	35
最大同時発音数	44
サステイン	14

シ

初期化	50
初期設定	51
シンクロスタート	23
シングル(フィンガリング)	22
シングルボイス	11

ス

スタート	23
スタート/ストップコマンド	42
スタイル	19
スタイルリスト	46
ストップ	25
スプリットボイス	12
スプリットボイス&デュアルボイス	12
スプリットポイント	16

セ

セクション	24
全体のコントロール	15

ソ

ソングメモリー	30
---------	----

タ

タッチレスポンス	17
----------	----

チ

チューニング	17
--------	----

テ

デモ曲	7
デュアルボイス	11
電源	6
電源アダプター	2
テンポ	23

ト

トラック(アカンパニメント)	20
トランスポーズ	16

ナ

ナンバー選択ボタン[+], [-], [0]~[9], [+/-]	8
--------------------------------------	---

ハ

パーカッションキットリスト	10, 48
パッドコード(アカンパニメントトラック)	20
ハーモニー	14
ハーモニータイプ	14
パン	13

ヒ

ビートディスプレイ	23
ピッチベンド	17
ピッチベンドレンジ	17

フ

フィルイン1・2	24
フィンガリング	21
譜面立て	3
フル(フィンガリング)	22
フレーズ1/2(アカンパニメントトラック)	20

ヘ

ページコピー	39
ページ#	38, 39, 43
ページメモリー	37
ベース(アカンパニメントトラック)	20
ヘッドフォン/AUX出力端子	3

ホ

ボイス	9, 13
ボリューム	13

マ

マスターボリューム	6
マルチディスプレイ	8
マルチ(フィンガリング)	22
マルチパッド	34

ミ

MIDI	40
MIDI OUT	42
MIDI OUT/INジャック	40
MIDIインプリメンテーションチャート	52
MIDI受信	40
MIDI送信	42
MIDIバルクダンプ	43

メ

メインA/B	24
メジャー#	33
メトロノーム	15
メモライズ	28
メモリーのしくみ	37
メロディトラック	31

リ

リズムックコード1/2(アカンパニメントトラック)	20
リズム1/2(アカンパニメントトラック)	20
リセット	32
リボイス	25

レ

レジストレーションメモリー	28
---------------	----

ロ

録音	29~35
----	-------

ワ

和文シート	3
ワンタッチセッティング	27

PSR-410仕様

鍵盤： レギュラーサイズ61鍵 (C1～C6：タッチレスボンス付)	アカンパニメントコントロール： シンク ロスタート/ストップ、スタート/ス トップ、イントロ、フィルイン1、フィ ルイン2、エンディング、メインA/B	アンプ最大出力： 4.5W×2（電源アダプターPA-5B使用 時） 1.5W×2（乾電池使用時） AUX OUT/ヘッドフォン出力：出力イン ピーダンス75
ボイス： AWM128音色（最大同時発音数28）： 01～128 キーボードパーカッション：1～8 ボリューム：00～24 オクターブ：-2～2 パン：-7～7 ワンタッチセッティング オーケストレーション：R1/R2/L1/L2 ハーモニー：タイプ01～10、オン/オフ	レジストレーションメモリー： メモライズ 1～4	スピーカー： 12cm×2
セットアップ： パワースイッチ：オン/オフ マスターボリューム：MIN～MAX	マルチパッド： ストップ 1～4（コードマッチタイプ2つ含む）	使用電池： 単1乾電池(1.5V)×6
ページメモリー： ページ#：1～4 MIDIバルクダンブ/ページコピー	デモ： ソング#：ALL, 1～5 スタート/ストップ	電池寿命： マンガン電池で約2.5時間、アルカリ電池 で約12時間（デモ演奏連続使用：マス ターボリューム最大）
全体のコントロール： テンポ：040～240 メトロノーム：オン/オフ スプリットポイント トランスポーズ：-12～12 チューニング：-16～16 タッチレスボンス：オン/オフ ピッチベンド：-12～12	ソングメモリー： メジャー# トラック：アカンブ、メロディ	使用電源アダプター： PA-5B
オートアカンパニメント： 80スタイル(自動伴奏機能)： オートアカンブ：オン/オフ フィンガリング：1～5 アカンブボリューム：00～24 リボイス トラック：リズム1/2、ベース、リズム ミックコード1/2、パッドコード、フ リーズ1/2	ソング： リセット、プレイ/ストップ	消費電力： （電源アダプターPA-5B）22.0W （乾電池）8.0W
	レコーディング： 録音、クリア	寸法（幅×奥×高mm）： 939×397×113
	ARE YOU SURE？： YES、NO	重量（kg）： 6.0（乾電池含まず）
	マルチディスプレイ： ナンバー選択ボタン：[+]、[-]、 [0]～[9]、[+/-]ボタン	付属品： 電源アダプターPA-5B、譜面立て、 和文シート、取扱説明書、保証書
	MIDI： 受信チャンネル/クロック/コマンド、 送信チャンネル	
	付属端子： DC IN、ヘッドフォン/AUX出力、サス ティンペダル、MIDI IN/OUT	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

オプション商品のご紹介

ヘッドフォン

HPE-3 ¥3,000

HPE-150 ¥4,000

ソフトケース

SCC-35 ¥10,000

キーボードスタンド

L-2C ¥6,000

フットスイッチ

FC4 ¥3,000

FC5 ¥1,500

MIDIケーブル

YAMAHA MIDI-15 15m ¥3,000

MIDI-03 3m ¥1,100

商品の金額には、消費税は含まれておりません。



メモ

サービスと保証

本機の保証期間は、保証書により、ご購入から満1ヵ年です。（国内のみ有効）

保証期間の1ヵ年を過ぎましても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ店、または、下記のサービス拠点までお問い合わせください。

お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご持参ください。責任をもって修理調整いたします。

サービスのご依頼

ご使用中に「故障ではないか」と思われましたら、まず本書の「故障かなと思ったら…」の項をお読みいただき、ご確認ください。（ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。）なお、サービスをご依頼される時は、お名前、ご住所、電話番号などを正確にお知らせください。また、お勤めなどでご不在がちの方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡先をお知らせください。（楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたい時や、万が一やむをえない事情によってお約束を変更しなければならないような時に、お客様にご迷惑をおかけしないですみます。）

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 （修理受付および修理品お持ち込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50（ヤマハセンター内）	TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7（仙台卸商共同配送センター3F）	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* （*修理品お持ち込み窓口）	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911（ヤマハ（株）宮竹工場内）	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 （ヤマハ（株）名古屋流通センター3F）	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16（ヤマハ（株）千里丘センター内）	TEL. 06-877-5262
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7（ヤマハ（株）高松店内）	TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
本社カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911（ヤマハ（株）宮竹工場内）	TEL. 053-465-1158

各支店営業課リスト

北海道支店 LM営業課	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター	TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
東京支店 特販営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5475
関東支店 LM営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 LM営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
大阪支店 特販営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130
電子楽器営業部	〒108	東京都港区高輪2-17-11	
ポータブル楽器営業課			TEL. 03-5488-6641

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION